

INDEX

- 巻頭言 01
- 学部 News 02
- 学生生活を始めるにあたって 03
- 商学部カリキュラム 05
- キャンパス案内 07
- 商学部事務所紹介 10
- 施設紹介 11

特集 ■■■■■

専任・新任教員紹介 13



- 稲龍会 29
- 学術情報検索 30
- 寄附講座・提携講座等 31
- 成績と表彰 37
- キャリア支援 39



早稲田大学商学部

- 商学研究科紹介 40
- 会計研究科紹介 41
- 公認会計士 42
- 海外留学 44

学部長 挨拶



商学部長

横山 将義

早稲田大学商学部へのご入学おめでとうございます。学部を代表してお祝い申し上げます。

これから皆さんが学ぶ商学は、企業がヒト・モノ・カネ・情報などをどのように利用しているか、それによってどのようなビジネスを展開するかを研究するものです。また、企業や消費者の行動を通じて経済社会が構築され、ビジネスと経済の相互作用も研究対象にしています。したがって、皆さんはビジネスとそれを取り巻く経済環境の両面を学ぶことになります。

本学部では、商学をビジネスの研究の

みならず、経済社会を質的・量的に豊かにすることをめざす学問ととらえています。本学部の前身である商科は1904(明治37)年に創設されましたが、当時の三大経済学者の一人とされる天野為之博士がこれにかかわったことから、この考え方はいまも色濃く残っています。

本学部は、創設以来「学識ある実業家」の養成を教育理念に掲げ、人材の育成に取り組んできました。ここでいう「学識」とは単に専門知識の獲得を意味するわけではありません。国や地域、社会や風土などに応じてビジネスが展開されるとともに、ビジネスも他と同様、多様な価値観のせめぎあいの場になっています。このため、専門性を高めるだけでなく、幅広い教養や国際感覚も必要です。文化や歴史などを学ぶことは広い視野をもつことを可能にし、将来の指針につながります。さらに、ビジネスの世界では効率性が追求されますが、その根底には商道德や倫理観が欠かせません。

本年4月の入学者から新たなカリキュラムが適用されます。商学の基礎知識や専門知識を身につけてもらうことは当然ですが、学生に科目選択の幅を広げ、自主性を尊重する仕組みとしました。商学を学ぶ上でデータ分析の手法や技法を修得することも不可欠であり、統計・データ分析の科目の充実を図っています。また、外国語で学ぶことを通じて国際適応力を高めることにも配慮したものとなっています。これらを通じて、みずから課題を発見して調査・分析する能力を向上させ、卒業

するまでの4年間でビジネスマインドを涵養することが最終的な狙いです。商学は日常生活との接点が多いことが特徴です。たとえば、皆さんがアルバイトをすれば、モノを仕入れる、モノをつくる、モノを売る、あるいはみずからサービスを提供するという経験があると思います。身近にはこれら商学の対象となる商行為が多く存在しています。社会と近接する商学を反映して、本学部では伝統的に「学理と実際」という視点から科目を設置しています。とりわけ寄附講座や提携講座の多さは早稲田一であり、産業界の第一線に立つビジネスパーソンからビジネスの現場や最先端を学び、理論にとどまらない生きた商学に触れる機会にもなります。

大学は知的探求心を高めるところです。講義に出るだけでなく、本を読むこと、クラス・ゼミ・サークルなどにおいて多くの友人と語り合うこと、また議論することの中で、みずからの可能性に挑戦してほしいと考えています。次世代の社会で活躍し、その創出にあたる皆さんには、エビデンスにもとづく論理的思考力を養い、獲得した知識をもとに徹底的に考え抜く力も身につけてほしいと思います。知的な取り組みは、学生時代の良き思い出になるとともに、将来の社会で遭遇するであろう数多くの場面で少なからず示唆を与えてくれるはずです。

おわりに、心身の健康を第一に、これからの学生生活が実り多きものとなることをお祈りします。

宮島英昭教授らの共著論文が PRI in Person 2023において優秀賞を受賞

本学商学大学院の宮島英昭教授、鈴木一功教授とロンドンビジネススクールのジュリアン・フランク教授、ブリュッセル自由大学のマルコ・ベヒト教授による共著論文‘Does Paying Passive Managers to Engage Improve ESG Performance?’がPRI in Person 2023において優秀賞を受賞しました。

国連のPRI(Principle Responsible Investment)の活動の一環として、10月に東京で年次大会が開催され、その一部のアカデミック・カンファレンスの部で採択された論文のうちThe best paperを受賞しました。



News 1

早稲田大学ティーチングアワード受賞

商学部の教員2名が、2022年度秋学期早稲田大学ティーチングアワードを受賞しました。早稲田大学ティーチングアワードとは、優れた教育方法と創意工夫の普及により教育の質のさらなる向上をはかるため、優れた教育を実践している教員に対して授与される表彰制度です。受賞した科目の担当教員から授業内での工夫をお伺いしました。

「Organizational Behavior 1」担当 梁取 美夫(商学大学院 教授) :

この授業は商学部Global Management Programのコア科目の一つで使用言語は英語のため履修生の3割が交換留学生です。学生には文化や背景の異なる人の意見になるべく多く触れてほしいと考え、ディスカッション中心の授業構成にしました。初日も授業の説明は5分で切り上げ早速ケースに突入。「主人公はどうすべきだと思う?」と質問すると交換留学生数名がパッと手を挙げそこから議論が続きます。当初は圧倒されていた日本人学生も少しすると「これではいけない。」とばかりに発言をするように…。この最初の30分で授業のトーンが決まったと思います。この調子で最終週までひたすらディスカッションを続けた授業でした。

「英語II選択 : Listening(準上級)B 5」担当 服部 孝彦(早稲田大学非常勤講師) :

学生が授業で議論したい題材を扱った、リスニングを中心とするオーセンティックなオリジナル教材を毎週準備し、正解が一つではない、あるいは正解がない問いに対して、ペア・ワークとグループ・ワークを通して、クリティカル・シンキングの力、クリエイティブ・シンキングの力と、課題解決力を育成する授業を実践しました。オール・イングリッシュの、アクティブ・ラーニング形式の授業で、学生が主体的に英語で考える力を身につけられるように心がけました。



服部先生(左)、梁取先生(右)

News 2

第26回早稲田大学ビジネスプランコンテスト決勝大会

2023年7月21日(金)に決勝大会を大隈講堂において開催いたしました。本コンテストは、1998年に第1回を開催し、大学が関与しているものの中では、最も歴史のあるビジネスプランコンテストのひとつで、日常のちょっとしたアイデアから応募できるコンテストです。



第26回は、起業家養成講座1履修者からの応募約230件と一般募集(本学学部生)から約100件のビジネスアイデアを厳正審査し、14人(6組)が最終プレゼンテーションに進みました。優勝は創造理工学部3年 荻山祥英(KOKAKE)、準優勝は政治経済学部4年 日野真幸(チャリティモール)でした。第27回(2024年5月頃募集予定)でも積極的な応募を期待しています。

News 3

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
皆さんはこれから4年間を伝統ある早稲田大学商学部の学生として過ごすことになります。
その期間が実り多いものになることを切に望みます。
ここでは、学生生活を始めるにあたって、皆さんが注意すべき事項をお伝えします。

自由と責任は表裏一体

大学での勉強は自主性に任されており、何を学ぶかは、自分の意思で選択をすることができます。この点は高校までの教育とは、大きく異なる点です。

大学では、一つの科目を修得することに、「単位」と呼ばれる点数が与えられます。この単位を124単位以上修得しなければ、早稲田大学商学部を卒業することはできません。また、授業科目はいくつかの分野に分類されており、それぞれの分野ごとに、卒業に必要な修得単位数が設定されています。さらに、1年間で履修できる単位数には上限があり、その上限以上の単位を残して4年生になった場合には、自動的に留年が決まってしまう。

このような枠組みの中で、効果的な学習計画を立てることは、必ずしも容易ではありません。単位がわずかに不足したために留年し、せっかく決まっていた就職先を棒に振ってしまう学生が毎年存在します。このような事態を避けるためにも、配付された学部要項や「ROUTE-1 商学部の手引き」を熟読してください。

なお、科目の登録は、何よりも自分自身の学習意欲に基づいて行ってください。ミニコミ誌やインターネットの掲示板、あるいは先輩や友人からの噂を鵜呑みにしてはいけません。授業の印象は、受け手の能力や姿勢に応じて大きく異なるからです。

商学部では、4年間で卒業しない(できない)学生が、毎年5分の1近く存在します。その中には、留学や起業、インターンシップ、資格試験の受験準備による休学など、積極的な理由による留年も少なくありません。しかし、不本意な理由で留年を余儀なくされる学生もいます。自由とは責任を伴うものであり、それを使いこなせるか否かは、自らを律する力にかかっていることを忘れないでください。

早稲田大学を利用し尽くそう

早稲田大学には、皆さんの勉学を支援する万全の体制が整えられています。例えば、11号館には、商学部生用の学生読書室やマルチメディア教室、コンピュータ教室があります。公認会計士等の資格を目指す人には「公認会計士講座」も用意されています。ぜひ積極的に利用してください。

また、皆さんは、商学部の授業だけでなく、他学部やグローバルエデュケーションセンターが提供する授業を履修することもできます。

さらに、中央図書館、演劇博物館、會津八一記念博物館、大隈庭園、学生会館などは、早稲田大学が誇る施設です。中央図書館には、WINEという情報検索システムがあり、それを利用すると文献の効率的な検索が行えます。

皆さんは、MyWaseda と呼ばれるシステムを使って、電子メールを利用したり、インターネットにアクセスすることができます。コンピュータに慣れていない人は、コンピュータ教室やグローバルエデュケーションセンター等で開かれる講習会に、ぜひ参加してください。

必ず学部の掲示板を見てください

大学や学部からの連絡は、原則として11号館3階の掲示板を使って行われます(本号10頁参照)。登下校の際には、必ず見る習慣を身につけてください。なお、掲示板での連絡の一部は、商学部のウェブサイトでも見ることができます。

また、早稲田大学のホームページから入れる MyWaseda を利用すれば、パソコンやスマートフォンを通して、自分の登録科目や休講などの情報を得ることができます。

マナーと学内のルールを守ってください

授業中は、教室内の静粛をみだすことのないよう、携帯電話は電源を切るかマナーモードに切り替えてください。試験中は、必ず電源を切ることを徹底してください。

また、喫煙者にとっては何でもないタバコの煙も、気管等が敏感な人には大きな負担を与えます。早稲田大学のキャンパスは、指定された場所を除き、屋外を含めて、全て禁煙となっています。

マルチメディア教室、コンピュータ教室を使用する際には、ルールを守ってください。エレベーター使用のルールも、厳守してください(本号10頁参照)。

不正行為に手を出さないように

試験やレポートなどの成績評価にかかわる課題について、不正行為をする事例が毎学期報告されています。対面の試験におけるカンニング行為はもちろんのこと、オンライン試験において友人と相談しながら答案作成を協力し合うこと、レポートにおいて他人の書いた文献を引用もなく無断で流用し「剽窃」にあたる行為をすることは、いずれも不正行為と認定されます。

不正行為と認定された場合には、当該科目の単位を得られないだけでなく、当該学期の全ての科目が不可になります。また、無期停学の処分が下され、卒業の時期や就職の時期に多大な影響を及ぼします。さらに、推薦入学の場合には、当該高校からの推薦入学は原則として、次年度以降取り止めになります。

このように試験やレポート等における不正行為は、きわめて重大な、取り返しのつかない悪影響をもたらします。安易に不正行為に手を出さないよう、十分に注意喚起をしておきます。

違法行為、犯罪行為に手を染めないように

飲酒、喫煙にも気をつけてください。そもそも、20歳未満の飲酒・喫煙は法律により禁止されています。一気飲みで命を落とすなどということも、あってはなりません。

また、大麻等の違法薬物の使用や所持は、重大な健康上の害悪をもたらすのみならず、重い罰が課されます。さらに、割りの良いバイトを探しているうちに、振り込め詐欺の受け子等になって、逮捕されるというケースも発生しています。このような犯罪行為が判明した場合、退学処分になる可能性があります。絶対に犯罪行為に手を染めないように、特に注意をしてください。

SNS等への書き込みや個人情報の提供は慎重に

異性、同性に不快感を与えたり、メールやネット上の掲示板などを悪用して他人を誹謗、中傷することは犯罪であり、重大な結果を招きます。絶対にそのようなことはしないでください。

一方で、そのような被害を受けた人は、25-2号館にある「保健センター」の6階にある「学生相談室」(Tel. 03-3203-4449)や身近な教職員などに相談してください。「学生相談室」は、初回の予約は不要です(ただし予約優先です。また、法律相談は要予約です)。相談は無料です。

また、住所、電話番号、メールアドレス等の情報は悪用されることもあるので、自分自身の個人情報を他人に提供する際には十分に注意をしてください。X(旧Twitter)やLINEの書き込みなども安易におこなわず、慎重におこなってください。

詐欺まがいの勧誘に注意

社会経験の少ない皆さんを狙って、詐欺まがいの行為をおこなう人々がいます。例

えば、頼みもしないのに「当選」したとして特別な割引が認められるとか、「講習」を受けると就職に有利になる、健康食品等の会員となり友人を紹介すれば容易にお金が稼げる、この情報商材を買えば簡単かつ確実に儲けが出る、などと誘ってきます。

しかし、考えてみてください。そのようなうまい話があるはずありません。このような勧誘には決して乗らず、きっぱりと断ってください。また、このような被害に遭った場合にも、25-2号館の「保健センター」の6階にある「学生相談室」で、法律相談(要予約)を受けることができます。

商学部に公認自治会は存在しません

「商学部自治会」を名乗る者たちから「クラス委員」等への勧誘や接触があるかもしれません。しかし、「商学部自治会」を名乗る団体は、早稲田大学商学部とは全く無関係であり、この団体の行う選挙や集会に参加する必要は一切ありません。商学部教授会は1995年7月に「商学部自治会」の公認を取り消しました。この団体の委員等が当時の「商学部学生会規定」に基づいて選出されておらず、また、規定の範囲を逸脱し民主主義のルールに反する行動を取り続けてきたからです。「商学部自治会」と名乗る団体は非公認であり、商学部に敵対した行動を取り続けてきた団体であることを知っておいてください。

心身の健康を保つために

心身の健康にとって何よりも重要なのは日頃からの自己管理です。商学部生は、毎年行われる学生定期健康診断を必ず受診してください。また、体調が悪くなった時やその他メンタルケアを含むさまざまな相談の窓口として、25-2号館の「保健センター」に、「学生相談室」や「診療室」、「こころ

の診療室」(学生相談室 Tel. 03-3203-4449、診療室 Tel. 03-5286-3984、こころの診療室 03-5286-8743)が設けられています。

大学は固定クラスでの授業が少なく、多人数の授業では、決まった座席もないため、人間関係も希薄になりがちです。高校時代までのように、友達関係が自ずと出来ることは期待できません。そのため、特に一人暮らしを始める学生の中には、新しい生活環境に適應できず、精神的に落ち込み、孤立感から引きこもってしまい、このことが留年や中途退学の原因となるというケースが多く見られます。ぜひ、クラスやサークル、クラブ活動等において、早稲田大学での自分の居場所を積極的に見つけてください。

あなた自身が体調不良や精神的な落ち込みを感じたとき、あるいはあなたの周辺にそのような問題で悩んでいる人がいる場合には、迷うことなく早めに、「保健センター」にある「診療室」(要予約)や「こころの診療室」(要予約)、「学生相談室」あるいは身近な教職員に気軽に相談してください。

社会の一員としての自覚を

以上に述べてきたように、大学生活を送るにあたって皆さんに必要な不可欠なのは、これまでの高校や予備校とは次元を異にする、大学生としての意識と自律的・積極的行動、そして何よりも、大学生もまた社会の一員であるという自覚に基づく責任ある行動です。

大学は、大人が学問をする場所です。早稲田大学商学部生として、自覚ある行動に留意しながら、有意義な学生生活を送ってください。

商学部教務一同
高瀬浩一、小川利康、山田 茂
梁取美夫、新井 剛



早稲田大学 商学部 カリキュラムの特徴

商学部では2024年度の入学より新カリキュラムが導入されました。

商学部カリキュラム4つの特徴

1. 専門基礎科目の充実

商学部の基礎的素養を身に付けるため、必修科目(9科目)と選択必修科目(5科目中2科目選択)を設置しています。

特に、分析力・解析力を強化するため「統計リテラシー」と「Pythonによるデータ解析」を必修化しました。

2. 基礎演習の導入

大学生として身に付けるべき図書館資料リテラシーや研究テーマの設定から論文報告資料作成までのプロセスを学ぶため1年次春学期に「基礎演習」を導入しました。

3. 専門トラックの再編

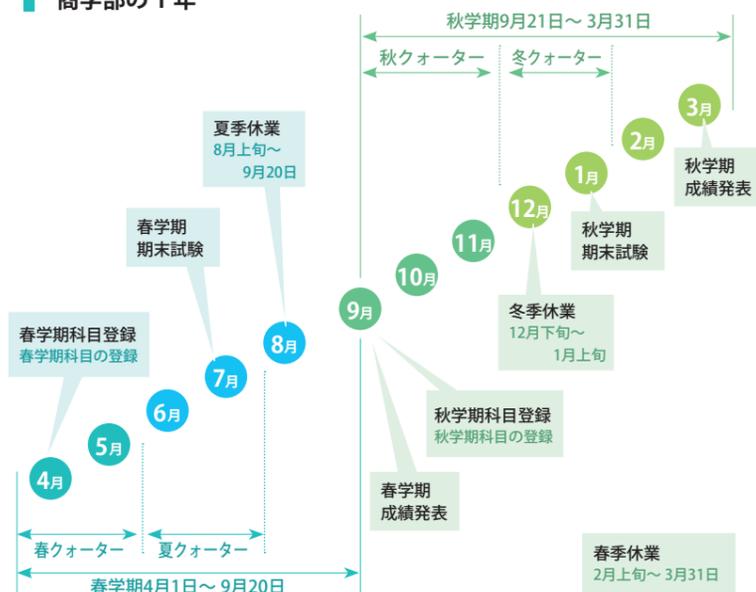
専門分野を広く・深く学ぶため、「経営」「会計」「マーケティング」「ファイナンス」「保険・リスクマネジメント」「ビジネスエコノミクス」の6つのトラックにリニューアルしました。

4. 外国語科目の再編

「外国語を学ぶ」から「外国語で学ぶ」「外国語を使う」にアップグレードするため、外国語科目、専門教育科目、外国語専門科目分野を再編しました。

※詳しくは学部要項と「ROUTE—商学部の手引き—」をご確認ください。

商学部の1年



Global Management Program (GMP)

Global Management Program(GMP)は、商学部生(2020年度以降入学者)を対象に新設された学部の独自プログラムです。学部4年間を通じて、今後の世界を背負って立つ「国際社会に貢献するビジネス・リーダー」を育成することを目指しています。

1. 世界へ羽ばたく人材を育成する 実践的な教育プログラム

GMPは、①英語運用能力、②英語で行われるビジネスに関する専門科目(GMPコア科目)の履修、③主に英語で運営されるGMPゼミの履修と英語での論文提出、という3つの修了要件を満たすことで、卒業時に修了認定を受けることができます。
※詳しくは商学部HPをご確認ください。

2. 特色ある活動

ゼミの壁を越えた協働の場として、GMPゼミ全体での合同ゼミ(GMP Forum)を定期的に実施しています。GMP Forumでは、学生も主体的にイベント企画に参加し、企業の方をお招きした特別講義や、パネルディスカッション等を行っています。また、各ゼミから選出された学生で構成されているGMP Student Committeeによる企画もGMP Forumで行っており、学生が主体的に活動しています。



卒業必要単位：124 単位	1年次	春	秋	2年次	春	秋	3年次	春	秋	4年次	春	秋
<p>CORE SUBJECTS (Basic) 専門基礎科目 (必要単位：28 単位)</p> <p>商学部生の土台となる9つの必修科目と選択必修科目の中から2科目を1年次に履修します。これにより商学に関する基礎的素養が身につく、専門科目履修時の理解が深まります。</p>	<p>20単位(必修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎数学 基礎会計学 基礎経済学 ビジネス法入門 統計リテラシーα・β・γ ビジネス概論 Pythonによるデータ解析 		<p>8単位(選択必修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営学 マーケティング論 金融入門 保険入門 基礎統計学 									
<p>CORE SUBJECTS (Advanced) 専門教育科目 (必要単位：52 単位)</p> <p>専門性を高める多岐の科目を設置しており、学習段階に応じて計画的に履修していきます。また、科目の中には総合・学際科目と呼ばれる専門性を補完する科目や、外国語で授業を行う科目も設置されています。</p>	<p>ゼミ</p> <p>60近いゼミが設置されており、少人数で専門のテーマについて調査、分析、プレゼンテーション、ディスカッションなどの活動を行い高度な研究を進めます。2026年度より専門分野ごとの6トラックの他に、専門性を補完する総合・学際演習科目を設置します。各自の興味と必要性に応じて履修し知識の幅を広げます。</p>		<p>所属トラック決定 (所属トラックから24単位以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営トラック 会計トラック マーケティングトラック ファイナンストラック 保険・リスクマネジメントトラック ビジネスエコノミクストラック 									
<p>FOREIGN LANGUAGES 外国語科目 (必要単位：12 単位)</p> <p>ビジネスで必須となる語学力の習得を重視し、必修の英語に加え、5つの外国語から1つを選択します。また、1年次に全員が少人数英会話科目「Tutorial English」を履修します。</p>	<p>必修(8単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語 <p>必修(4単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ドイツ語 フランス語 スペイン語 中国語 朝鮮語 											
<p>GENERAL EDUCATION 総合教育科目 (必要単位：12 単位)</p> <p>バランスのとれた学識を身につけるために、3分野の科目を設置しており、各自の関心に合わせて自由に選択できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 思想と人間 社会と歴史 科学と技術 											
<p>OTHER 共通選択科目 (必要単位：16 単位)</p> <p>上記の科目系列の中から必要単位数を超えて修得した単位や全学オープン科目等の単位が算入されます。</p>												
<p>総合・学際科目分野 (4単位以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎演習 法律系 学際系 寄附講座等 統計・IT系 												
<p>外国語専門科目分野 (4単位以上)</p> <p>①外国語選択科目と②外国語専門科目で合計8単位。外国語専門科目とは、外国語で授業が行われる専門科目です。グローバル化するビジネスに対応できる素養を身につけます。</p>												

勉学に励むとき

図書館は勉強や資料収集の場です。商学部生が主に使用する図書館は中央図書館(早稲田キャンパス18号館)や頂新国際グループ記念学生読書室(商学部・国際教養学部学生読書室、11号館地下1階)ですが、他学部の読書室も使用できます。大学所蔵の図書はWINE(蔵書検索システム)を通じて蔵書を検索することができます。所蔵のない図書や文献などに関しては、「学術情報検索」のサイトを通じて調べることができます。



中央図書館3階文庫・新書コーナー



中央図書館

国際文学館 (村上春樹ライブラリー)

早稲田大学国際文学館は、本学OBの村上春樹氏の作品(海外翻訳版も含む)や関連書籍が3,000冊所蔵されています。閲覧スペースで作品を楽しむことができます。



所蔵されている作品

パソコンやプリンターを 使用したいとき

★学生IT相談室

学生のIT利用技術の向上を支援するため、学生向け相談窓口として7号館に「学生IT相談室」を設置しています。学生IT相談室は、コンピュータールの利用方法、プリンターの不具合など、困ったことがある場合に、TAによるサポートを受けられます。なお、印刷用紙は各自用意する必要があります。

★早稲田ポータルオフィス

早稲田キャンパス7号館1階

早稲田ポータルオフィスでは、学生が自由にグループ学習できる「W-Space」、全学共通設置科目の履修相談や、総合案内など様々なサービスを提供しています。カラープリンターや自動証明書発行機の設置もあります。また、早稲田キャンパスで落し物をしたときは、こちらにお問い合わせください。



早稲田ポータルオフィス

食事・生活関連

★大隈ガーデンハウス

早稲田キャンパス25号館

早稲田大学にはいくつかの学生食堂がありますが、その最も大きなものが「大隈ガーデンハウス」です。1990年に建てられた大隈ガーデンハウスは食事スペースがガラス張りになっており、大隈庭園のきれいな景色を眺めながら食事ができます。おしゃれな雰囲気、栄養のバランスのとれた豊富なメニュー、値段もお手ごろとあって学生にも大変人気です。夏季、冬季、春季休業期間中は、短縮営業となります。



大隈ガーデンハウス

★生協 早稲田キャンパス17号館

地下1階にあるブックセンターでは書籍が購入でき、生協に加入すると1割引になります。1階のライフセンターでは、パン・おにぎりから文具・パソコン・早稲田グッズまで幅広いジャンルの商品を購入できます。また、トラベルサービスセンターでは、海外・国内旅行やTOEICなどの資格試験の申し込みができます。このほか、3、8、14号館にも生協の売店があります。



生協ライフセンター

早稲田キャンパス

ICC(異文化交流センター)	3	スマートエージェンシー/モバイルセンター	120
倉津八一記念博物館	2	スマート社会技術総合研究機構	120-5
アカウンティングセンター	1	生協本部	17-3
アジア太平洋研究センター	19	政治学研究所	3
アジア太平洋研究センター	19	政治経済学部	3
日仏新領域センター	120-5	発達社会学研究所	14
丹澤記念ホール	18	総合案内	1
インキュベーションセンター	19-3		
エクステンションセンター	23	2 体育館	17
エクステンションセンター別館	29-2	大学総合研究センター	7
演劇博物館	5	高田甲斐記念図書館書庫	2
演劇博物館事務所	6	地域地域研究機構	29-7
大隈会館(本部事務用)	20	中央図書館	18
大隈ガーデンハウス	25	データ科学センター	1
大隈記念講堂	21	高田書庫コレクション展示室	2
大隈記念講堂	1		
小野記念講堂	27	3 アタラクシアセンター(NTRC)	120-5
		アノライフ創設研究機構	120
4 会計研究科	11	日本通教育研究科	19
学生・教職員用託児室	99	日本語教育研究センター	22
学生住宅センター	99	入学センター	1
国際総合研究センター	20-7	国際総合研究センター分室	27-6
音楽室	17-2		
教育学研究科	16	4 比較法研究科	8
教育学部	16	125記念室	26
教育総合研究所	16	平山船夫記念ボランティアセンター	99
教育連携課	20	文化推進部	99
教職支援センター	16	法学部	8
国際総合研究センター	17-3	法務教育研究センター	8
グローバルエデュケーションセンター	1	法務研究科	27
経営管理研究科	26	保健センター	25-2
経済学研究科	3	保健センター-早稲田分室	3-25
公共経営研究科	26	ホセ・セスターサー-早稲田(保育所)	28
現代総合経済学研究所	3	本学総合事務局-早稲田事務局	29-7
研究推進部	121	ビジネス・フューチャーズ研究センター	11
研究総合支援室	1		
高等研究所	19	5 Math and Stat Center	3
国際会議場	18		
国際教養学部	11	6 UNISHOP&CAFÉ 125	23-5
国際コミュニケーション研究科	11		
国際部	22	7 ライティングセンター	3
国際文学館	4	リフレッシュスタジオ	25
コンプライアンス推進室	19	留学センター	22
		リサーチ(バーン)センター(研究開発部)	121
8 次世代ロボット研究機構	120-5		
社会科学研究科	14	9 ワセダチャペル	27
社会科学部	14	早稲田小劇場ドラマ棟	27-9
GSセンター	10	早稲田大学歴史館	1
商学研究科	11	早稲田ポータルオフィス	7
商学部	11		
産業経営研究所	11		
障がい学生支援室	3		
職員組合	17-3		

病気になったとき

★保健センター 早稲田キャンパス25-2号館

保健センターは、学生の皆さんが健康な状態で大学生活を送るとともに、在学中に生涯を通じて心身の健康を自己管理できる能力を身につけられるよう援助しています。救急時の対応をはじめとして、定期健康診断や定健後の指導に重点を置き、内科、外科、整形外科、循環器、消化器、婦人科の他、精神科の専門医を配し、心身のいろいろな健康について相談に乗り、適切な専門医療機関への紹介を行っています。また、3号館1階には保健センターの分室が設けられており、急な体調不良の応急措置や、健康相談などを行っています。学生相談室では、臨床心理士が学業、進路、人間関係、性格、自傷他害行為、迷惑行為など、学生生活全般に渡る個人の相談に応じます。



保健センター

奨学金について

★奨学課 戸山キャンパス学生会館(30号館)1階

早稲田大学には多様な奨学金制度があります。主として、本学独自の学内奨学金、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・民間団体が設置している学外奨学金があります。奨学金のうち給付は返還の必要がない奨学金、貸与は卒業後返還する奨学金です。学内奨学金(日本人対象)は全て給付の奨学金で、全国の大学でもトップクラスの給付人数実績、給付金額実績を誇っています。各奨学金の詳細については、奨学金情報誌「Challenge」(商学部事務所に配布)をご確認ください。出願方法・審査基準・選考～採用スケジュール等が掲載されています。



学生会館正面入口

文化に触れたいとき

★倉津八一記念博物館 早稲田キャンパス2号館

東洋美術部門、考古学部門、近代美術部門がそれぞれ年一回の企画展を開催し、常設展示室でもそれぞれの分野による特集展示をおこなっています。また、2009年5月に富岡重憲コレクション展示室がオープンし、早稲田ゆかりの美術品や研究資料だけでなく、書画や陶磁器の逸品を学内で間近に見ることができるスペースとなっています。



倉津八一記念博物館

★坪内博士記念演劇博物館 早稲田キャンパス5号館

1928(昭和3)年10月、坪内逍遙博士の発案で、エリザベス朝時代、16世紀イギリスの劇場「フォーチュン座」を模して今井兼次らにより設計されました。館内展開催のほか、演劇講座、館蔵資料の目録・図録の出版、他館で行われる様々な展覧会への協力等、多彩な活動を行っています。



坪内博士記念演劇博物館



歴史館

学内外活動

★平山船夫記念ボランティアセンター(WAVOC) 早稲田キャンパス99号館2階

WAVOCでは、「社会と大学をつなぐ」、「体験的に学ぶ機会を広く提供する」、「学生が社会に貢献することを応援する」という3つの理念を掲げ事業を展開しています。ボランティア活動の情報提供や仲介だけでなく、ボランティア関連の科目や様々な分野におけるボランティアプロジェクトを拡充し、より多くの学生が国内外の社会貢献活動において活躍できる人材となるよう支援しています。



ボランティアセンター

★異文化交流センター(ICC) 早稲田キャンパス3号館1階

現在、早稲田大学には100を超える国や地域出身の約5,700人以上のInternational Studentsや、研究者・教員が集い、勉学・研究・教育に励んでいます。また、勉学や見聞を広めるために、日本から海外に飛び出していくLocal Studentsも大勢います。ICCは、早稲田大学とともに学ぶInternational StudentsとLocal Studentsが出会い、お互いの文化を紹介しあい、異文化理解を深める場を提供することを目的としています。学生、教職員、および学外の諸団体の協力を得ながら、カントリー・フェスタ(各国文化紹介)、カフェ・スタイルのトークセッション、映画鑑賞会、フィールドトリップなど、さまざまな企画を行っています。



異文化交流センター

商学部事務所紹介



11号館3階の商学部事務所
(エスカレーター手前の入口から見て左側)では、
科目登録、成績、奨学金などの手続きや相談を受け付けています。

商学部事務所カウンター

- ◆ 学生生活に関する相談や手続きがある場合はお問い合わせください。商学研究科と同じ窓口になりますので、大学院進学等の相談についても随時受け付けています。
- ◆ カウンターの脇には配布物専用のラックが設置されています。『商学部報』『学部案内』『教職課程履修の手引き』などの各種冊子に加えて、留学案内、ボランティア活動などのパンフレットが設置されており、常時入手可能になっています。これらの情報誌をうまく活用することをお勧めします。



レポート提出ボックス

- ◆ レポート提出ボックスは事務所に入って右手(会計研究科、経営管理研究科カウンター側)柱の裏側に設置されています。科目名、担当教員、提出期間、表紙の要否などが記載されていますので、間違いがないか確認の上、提出してください。
- ◆ レポート表紙は事務所カウンターの左側に設置されています。



掲示板

- ◆ エスカレーターで2階から3階に上がると、左手に掲示板があります。休講・補講や中間・期末試験など、学生生活に関する重要なお知らせを掲載していますので、大学へ来た際は必ず確認するようにしてください。



◆ 商学部事務所学務係 対応内容

カテゴリー	対応内容
科目登録	科目登録手続・相談
ゼミ/トラック(コース)登録	ゼミ応募手続・相談
成績	成績相談
学籍	学籍手続・相談
	学費相談
	卒業相談
奨学金	各種奨学金手続・相談
留学	留学全般手続・相談
	単位認定手続・相談
資格	教職課程及び各種資格
進学	大学院進学相談
その他	証明書・学割発行
	遺失物確認

◆ よくあるご質問

大学届け出の住所を変更したいとき

MyWasedaにログインし「ホーム」左メニューの
個人情報照会・変更 > 学生基本情報変更 を選択します。
必要な個人情報を修正し、 ボタンをクリックしたら申請は完了です。登録情報が承認されると、事務所で新しい裏面シールをお渡しできます。

落とし物をしたとき

落とし主が判別できるものは、11号館3階商学部事務所にて原則3か月間保管します。
落とし主が判別できないものは、7号館1階ポータルオフィスにて一時的に保管した上で、学生生活課にて原則3か月間保管します。ご本人確認のために学生証が必要ですのでご持参ください。
落とししたものの中に学生証が含まれる場合は、運転免許証などの公的身分証をお持ちください。

11号館(館内マップ)

「記憶」と「伝統」の架け橋

1938年に商学部出身者の寄附により建てられた旧11号館から、70年以上の時を経て、2009年に現在の11号館が竣工しました。11号館は、地下2階地上14階建てであり、延床面積は34,225.75㎡、高さは68.5mあります。

注) 各施設の利用時間は通常時の授業実施日の情報です。

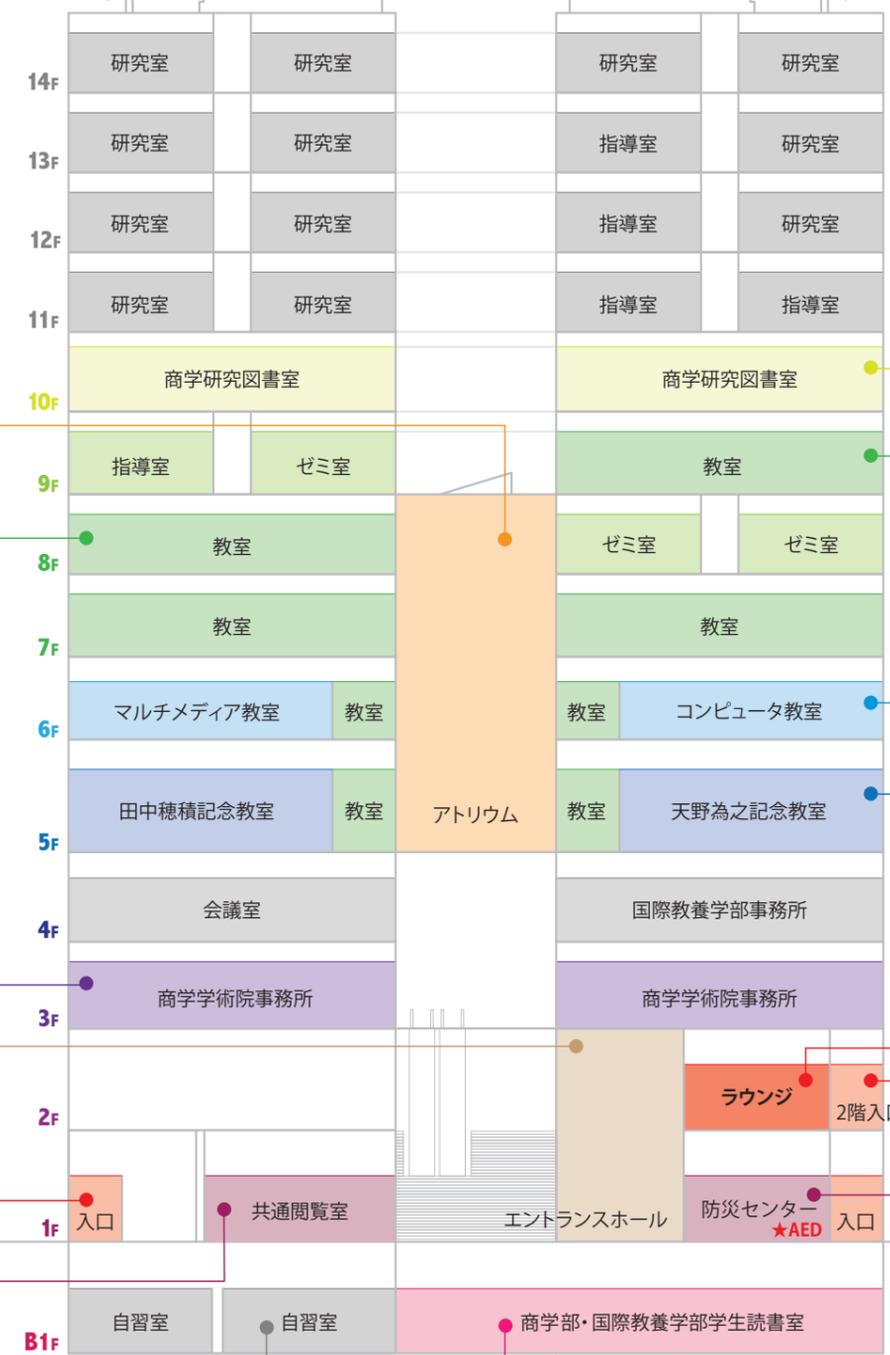


※施設全体:11号館内
全てで無線LANの使用
が可能です。

※館内の移動に関する注意事項

- 学生は原則エスカレーターまたは階段を利用してください。
- 9号館寄りのエレベータ1基は、来客・教職員専用のため、学生の一切の利用を禁止します。
- 14号館寄りのエレベータ3基については、低層階(1階または2階)と高層階(9階以上の階)の間で直接移動する場合に限って、利用を認めます。
- エレベータ内は飲食禁止です。

■商学研究図書室
商学大学院の教員ならびに大学院生のための図書室です。学部生の利用には所定の手続きが必要です。



■アトリウム
(岡田卓也記念アトリウム)
5階から8階を吹き抜けにし、「光」をテーマにした大規模な空間です。照明や温度を自然に近い状態になるよう自動調節しています。



■教室
5~9階には大小さまざまな教室やゼミ室・指導室があります。各教室ともAV機器が整備されておりプレゼンテーション用の機能などが充実しています。



■商学大学院事務所
(商学部・商学研究科・会計研究科・経営管理研究科)
事務所はエスカレーターホールに面して配置しており、事務所向かい側には大型の掲示コーナーがあります。事務所内は入口から左側が商学部の受付です(右側は大学院の事務所)。
◆利用時間:10:00~16:00(月~金曜日)



平沼淑郎先生の銅像
第2代商学部長であった平沼先生は1938年に旧11号館が新築されるまで改築促進の寄付金募集の会長を務められました。しかし竣工のわずか2ヶ月前にお亡くなりになられ、その功績を称えるため銅像を設置し、新11号館へと引き継がれています。



エントランスホール外

■エントランスホール
(大和証券グループ記念エントランスホール)
入口を入ると1階・2階の2層吹き抜けの空間が広がっています。売店が併設されており、食べ物や飲み物などを購入することができます。



■入口
「記憶」と「伝統」を意図して旧11号館の入口部分を解体される以前と同じ場所・位置に再構築しています。



■閲覧室
商学部・国際教養学部共通閲覧室であり、学生が自由に読書を行うことが可能です。
◆利用時間:8:00~22:00(月~土曜日)
◆設備:自習席100席

■商学系大学院自習室
(11号館地下1階)
商学大学院に属する商学研究科、会計研究科および経営管理研究科の学生のための専用自習室です。
◆利用時間:8:30~22:20(月~土曜日)

■学生読書室(頂新国際グループ記念学生読書室/商学部・国際教養学部学生読書室)
経営・会計・マーケティング・貿易・金融・経済といった商学に関する幅広い資料や雑誌・新聞・統計資料といった研究資料をはじめ、就職活動を支援する資料など幅広い学生のニーズに対応し、合わせて3万冊以上の資料が収蔵されています。
◆利用時間:9:00~22:00(月~金曜日)、9:00~18:00(土曜日)
◆利用方法:貸出期間は14日、貸出は5冊までです。

■馬蹄形教室
(福田秋秀記念教室、エムアウト記念教室)
通常の教室とは趣向の異なった馬蹄形の教室です。主に大学院の授業で使用します。



■PCルーム
計4室のコンピュータ・マルチメディア関連教室があります。
601,602,607教室:PC48台、プリンター2台
608教室:PC58台、プリンター3台
◆利用時間(601,602,607,608教室):
8:50~18:40(月~金曜日)
◆利用時の注意:オープン利用の場合のみ利用可能です。授業中のPCルームは利用できません。



■大教室
(天野為之*記念教室(501)、田中穂積**記念教室(505))
501・505教室はかつての講堂を想起させる木を多用したデザインの大教室です。
*天野為之先生...東京専門学校創立に参画し「早稲田四尊」の一人であり、1904年(明治37年)に初代商科長に就任。明治の三大経済学者の一人でもある。
**田中穂積先生...1920年(大正9年)に呼称が商科から現在の商学部に変更された際の初代商学部長。第4代総長も歴任。



■ラウンジ
西門側の2階入口から入ってすぐ、エスカレーター脇にあり、学生の交流の場として活用されています。窓際・中央・手前と室内は大きく3つのエリアに分けられテーブル・いすのタイプが異なり、目的に応じて使い分けることができます。
◆利用時間:8:00~22:00(月~土曜日)
◆設備:パソコン6台、約200席



■2階入口(西門側)
■防災センター
16:00以降のAV鍵の返却先はこちらです。また、AEDも設置しています。



教授

准教授

専任講師・講師

新任

教授

あらい さとし
荒井 訓

■専門分野
ドイツ文学

研究内容

18世紀末のドイツを消失点として遠近法的に、メディア・文学・文化に関する言説を追っています。

授業にあたり

教室が真に生産的な場になるように、お互いにやるべきことをきちんとやりましょう。疑問や意見が思い浮かんだら躊躇せず発言してください。そのとき「分からない」「すっきりしない」のはあなた一人ではないはずです。

新入生へのひとこと

基礎的な知識や教養をしっかりと身につけて、厚みのある早大生になってください。

教授

あらい つよし
新井 剛

■専門分野
民法

研究内容

民法、特に担保法・不動産法が専門です。これまでドイツ法、イギリス法と比較しながら、執行妨害排除の問題等について研究してきました。最近は、不動産賃貸借契約に関する個人保証人保護のあり方や、カーボンニュートラル、CCSの法的課題についても研究しています。

授業にあたり

今日、ビジネスの世界では、コンプライアンス（法令遵守）が非常に重要です。ビジネスもルールに基づいて行われます。ビジネス界をリードする人材になるために、ビジネスにまつわる法律を学び、その考え方を涵養してください。民法や法律のおもしろさと奥深さが伝わるような授業を心掛けたいと思います。

新入生へのひとこと

早稲田大学商学部合格し、入学が決まったのは、あなたの「運命」です。この運命と縁を大切にしながら、早稲田大学での学生生活を謳歌してください。

教授

いけお あいこ
池尾 愛子

■専門分野
経済史
国際経済関係論

研究内容

国際経済政策史、近代経済学史、エネルギー経済学に関心を持ち、グローバル・ヒストリーを意識しながら日本や東アジアに焦点をおく研究発表を行っています。商学部の創設者である天野為之の評伝が完成しましたので、ぜひ読書対象に入れてください。

授業にあたり

グローバル化を考察するにあたり、歴史を重視してゆきます。文化や伝統が異なるなかで、国境を超える経済活動、利害関係者の協力と努力が、グローバル経済にダイナミズムとバランスをもたらすと思います。

新入生へのひとこと

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。読書に励み、デジタル・ツールの利用に慣れ、国内外のニュースに触れて、活動範囲を広げてください。旅行、交換留学、語学留学を勧めます。

教授

いのうえ たつひこ
井上 達彦

■専門分野
経営学
経営組織論

研究内容

起業家精神とビジネスモデル
競争の焦点は、製品の競争から事業の仕組みの競争へと移行しています。競争相手と差別化しながら、パートナーと共に、いかに顧客に価値を提供するのか。そのための仕組みづくり、起業に向けた発想法について研究しています。

授業にあたり

ビジネスにとって分析と発想は車の両輪です。通常の講義では理論を、実践ワークショップの授業では、起業家とともに発想法も教えています。是非、チャレンジングして下さい。

新入生へのひとこと

大学でしか学べないことは何か。この時機に早稲田の杜で学ぶことのメリットを考えて、知力と人間力を磨いてください。私たちが、知を愉しむをモットーに、「考動する知識人」の育成に励んでいます。

教授

いん けいしゅん
尹 景春

■専門分野
中国語教育
日中経済関係法

研究内容

中国語教育と経済関係法。最近特に関心を持っているのが中国語・中国文化の海外での推進事業の現状と今後の展望です。

授業にあたり

皆さんにとって中国語は外国語なので言い間違えるのは当然のことです。気にせず練習してください。なお、プロゼミでは、学生のニーズに合わせて授業を進めるので、関心のあるテーマに皆で取り組みましょう。

新入生へのひとこと

グローバル化が進んでいる今日では、日本はどの方向に向かっていくかは全く予測が付きません。大学卒業後のことを常に念頭に置き、なるべく多くの知識と力を身につけてください。

教授

ELWOOD Kate
エルウッド・ケイト

■専門分野
英語学
英語教授法

研究内容

CLIL (Content and Language Integrated Learning)、語用論、文体論。

授業にあたり

英語を勉強することは、文法、語彙、発音を習得することではありません。むしろ、さまざまな角度から問題を考え、ディスカッションやプレゼンテーション、リサーチペーパーなどで自分の考えを自分の言葉で論理的に伝え、そしてクラスメートや他の情報源から得た知識を統合する能力が本物のコミュニケーションです。実践を通じて養ってください。

新入生へのひとこと

大学の4年間はあっという間に過ぎてしまいます。いろんな事をやるには「まだ時間がある」と思わず、一年生の春学期から一所懸命に取り組むと良いと思います。沢山の人と話して、沢山の活動やイベントに参加して、沢山本を読んで、沢山のことについて考えてください。
Make the most of your time at Waseda!

教授

おおしか ともき
大鹿 智基

■専門分野
企業価値評価論

研究内容

会計情報を中心とした情報と企業価値との関連性について実証分析を進めています。最近では、企業内部・外部の様々なステイクホルダー（たとえば、従業員、地球環境、株主、課税当局）と良好な関係を築くことが企業価値にとってプラスになることを検証しています。

授業にあたり

「大学生は社会人である」との認識の下、自らの将来のために自ら進んで学ぼうとする姿勢を持つ学生と、一緒に学んで行きたいと思っています。

新入生へのひとこと

大学時代の経験は皆さんの一生に大きな影響を与えるものです。勉強に限らず、様々なことに挑戦し、人間として成長するよう心がけてください。

教授

おがわ としやす
小川 利康

■専門分野
中国語
中国文学

研究内容

専門は中国近現代文学です。近代屈指の随筆家にして、知日家である周作人を研究しています。このほかコンピュータを利用した中国語教育法、中国映画・芸能にも興味があります。

授業にあたり

異なる風土に育まれた中国社会と向き合い、何を感じ取るのかは人それぞれですが、真摯に向き合わなければ何も得られません。教室はコミュニケーションの場です。常に「一歩前にでる」積極性を忘れずに参加して下さい。

新入生へのひとこと

大学では、何をするのか、その行動にどんな意義を見いだすのか、すべて諸君の判断に委ねられています。卒業というゴールに向けて、自分の目標を常にクリアにイメージできるよう、高い意識を持って大学生活を送りましょう。

教授

おくむら まさし
奥村 雅史

■専門分野
会計学

研究内容

企業による情報開示に関する実証的研究、情報技術の進展と会計の関連性に関する研究。

授業にあたり

会計を学習するためには基本からの積み上げ学習が必要です。積み上げ学習によって深い理解に到達でき、その理解があると世の中の見え方が変わります。このことを伝えられるように講義を進めます。

新入生へのひとこと

知らない間に自分に備わっている「常識」を大学生の間に再構築してください。周囲の学生、先生、バイト仲間や上司など、いろいろな人と話をし、また、いろんな本を読んで、自分を振り返ってみましょう。予想以上に考え方に幅ができて、自分に自信がつかずはまずです。早稲田で過ごす時間が、皆さんの人生にとって有意義であることを祈っています。

教授

おぐら かずや
小倉 一哉

■専門分野
労働経済学

研究内容

労働経済（労働時間、非正規雇用、労使関係など）

授業にあたり

私の分野は「働くこと」を対象としています。日本の会社や組織の中で働くことについて、理論と現実の双方を学び、良き社会人として働くことができるような授業を心がけます。そのためには、受講生にも真剣さが求められます。

新入生へのひとこと

早稲田大学商学部の4年間で立派な社会人として巣立つことができますよう、ご祈念申し上げます。

教授

おさき ゆうすけ
尾崎 祐介

■専門分野
財政学・金融論

研究内容

ミクロ経済学的手法を用いて証券市場を理論的に分析するフィナンシャル・エコノミクスが専門分野です。これまでの研究としては、「あいまい性」「後悔」など私たちが持つ様々な心理的な要素が証券市場にどのような影響を与えるのかについて分析してきました。また、それらの要素が与える影響について、証券市場を越えて不確実性が重要な役割を果たす様々な状況で分析を進めています。フィナンシャル・エコノミクスに小難しい印象を持つかもしれませんが、最近の研究では身近で要すべき人間が分析の対象となっており、興味深い研究分野です。分析の対象も手法も多様となり、これからのどのように研究が発展していくのか楽しみです。

授業にあたり

授業では汎用性の高い標準的な内容を取り上げます。社会に出てから、実務的な内容については実践を通して色々と学ぶ機会がありますが、理論を体系的に学ぶ機会は限られているからです。一方では、授業を通じて研究の面白さを少しでも感じてもらえるような授業にしたいと考えています。

新入生へのひとこと

ご入学、おめでとうございます。大学時代に色々な経験、そして、(前向きな)失敗をしてください。大学時代の経験や失敗は今後の人生の宝になっていくはずですよ。早稲田大学商学部には、経験も失敗もできる場所が用意されていますが、それをどのように活用するのかが皆さま次第です。

教授

おんぞう なおと
恩藏 直人

■専門分野
マーケティング

研究内容

マーケティング戦略です。特に、コモディティ化市場への対応について研究を進めています。また、産学連携でブランド評価やセンサーリー・マーケティングなどについての研究プロジェクトにも取り組んでいます。

授業にあたり

マーケティングに関心を有する諸君に履修していただき、授業や演習には熱意を持って取り組んでもらうことを期待しています。

新入生へのひとこと

ビジネスでは戦略という言葉がよく用いられます。ある意思決定が戦略的であるための条件の一つに、投資発想があります。これは「損して得取れ」という考え方であり、大学時代はまさに人生における投資の期間だと思えます。授業やゼミ活動に投資した皆さんの時間と努力が将来の得につながるからです。

教授

准教授

専任講師・講師

新任

教授

かたおか たかお

片岡 孝夫

■専門分野
理論経済学

研究内容

動学的マクロ経済理論、財政理論
マクロ的経済政策が所得分配に与える影響
サーチ論的接近による貨幣の理論など

授業にあたり

私の授業や演習をとる人には、単なる知識の追求を越えて、「きちんと分かる」ことの喜びを大切にしてもらいたいと思っています。

新入生へのひとこと

大学は高校までの学校に比べてはるかに自由ですが、同時に、自己責任を問われる厳しい場所でもあります。このような場に自分の居場所を確保するためには、相談できる友人を作ることがきわめて重要です。新入生の皆さんは、まず良い友達を作るよう心がけてください。

教授

かたやま はじめ

片山 東

■専門分野
応用ミクロ計量経済学

研究内容

計量経済学という手法を使って多岐にわたる問題（たとえば企業が行う環境への自主的な取り組みの要因、スポーツチームの資金構造とパフォーマンスの関係など）を分析しています。

授業にあたり

「経済学」というと景気や失業率といったキーワードばかりが連想されがちですが、これは経済学の一側面に過ぎません。経済学は人の行動、企業の行動、様々な社会現象を分析する際に用いることのできる有用な道具です。受講者のみなさんがその道具を上手に使えるようになることを目的に講義をしたいと思っています。

新入生へのひとこと

社会人になり何年か経つと「あの時もっと勉強しておけばよかった」と言う人によく会います。私もその一人です。大学の4年間はあっという間に過ぎ去ります。この4年間に何をしたらよいか。大学生生活がスタートする今、考えるといいかと思います。

教授

くぼ かつゆき

久保 克行

■専門分野
コーポレート・ガバナンス

研究内容

コーポレートガバナンスや労使関係などについて研究しています。最近では、企業の合併や買収にともなって企業の組織がどのように変化するかということの研究をしています。また、日本の経営者が株主価値を最大化させるようなインセンティブを持っているかどうかということにも注目しています。

授業にあたり

大学を卒業した時点で自分は何をできるようになっている必要があるのか、また卒業後10年後の自分がどのような姿なのか、そのためには現在何をすればよいか、ということを考えて講義や演習を履修してください。

新入生へのひとこと

他人が読めるレポートを書く能力、基礎的な統計学、英語などの基礎的な能力を高める努力を意識的にしてください。

教授

さかの しんや

坂野 慎哉

■専門分野
経済統計学

研究内容

「計量経済学」という統計学の一分野の、基礎理論を研究しています。

授業にあたり

情報化社会の到来により、統計学の重要性はますます高まっていますが、その習得には時間がかかります。時間がある学生時代に学んでおかれることを、お奨め致します。

新入生へのひとこと

早稲田大学は学生の多い大学ですから、ともすれば人の波に埋没しそうになります。しかし、それだけ友人も作りやすいと言えるでしょう。

教授

さかの ともあき

坂野 友昭

■専門分野
経営学

研究内容

経営戦略、特に金融サービス会社の多角化・グローバル戦略。

授業にあたり

自分が直面する問題を発見し、問題がいかなるものであれ、それに対する分析能力と解決能力、そして分析結果のプレゼンテーション・スキルを身につけてもらいたいと考えています。

新入生へのひとこと

“Small Win”の戦略、つまり何でも少しずつ継続的に積み重ねていくこと。

教授

しまむら かずえ

嶋村 和恵

■専門分野
広告論

研究内容

日本の広告教育のあり方、広告の法規制・自主規制、ユニバーサルデザインと広告（宇幕付きCMなど）に関心をもっています。

授業にあたり

広告論ではさまざまなメディアを使って、さまざまな目的で行われるコミュニケーション活動を研究します。ただモノやサービス売りつけるだけではない広告の目的や手法を知り、広告が社会においてどのような役割をもっているかを考えていきましょう。

新入生へのひとこと

入学おめでとうございます。大学は、興味や関心、性格が異なるさまざまな学生や教員が集まってごちゃごちゃしているのがいいところです。オンラインでできることは増えています。それだけで納得しないで、自分自身の体験を重ねて大きく成長してください。

教授

しみず ひろし
清水 洋■専門分野
経営学
イノベーション

研究内容

イノベーションを企業の戦略や組織、産業組織の観点から歴史的に分析しています。
 (1) イノベーションにはどのようなパターンがあるのか、(2) イノベーションのパターンに影響を与えるのはどのような要因か、(3) 企業はイノベーションのパターンをどのように戦略的に活用できるのかの3点を中心に分析をしています。短期的な変動よりも、長期的なパターンの変化に興味があります。

授業にあたり

イノベーションはまだまだ分かっていないことが多い領域ですが、それでも研究は蓄積されてきています。まずは、巨人の肩にのって世界を見てみよう。そして、知識のバウンダリーを一緒に広げよう。

新入生へのひとこと

入学おめでとう。ぜひとも自分自身に大きな期待をかけてください。一緒に良い学びのコミュニティを創っていきましょう。

教授

すずき としひこ
鈴木 利彦■専門分野
言語学(語用論)
英語教育学

研究内容

語用論(スピーチアクト、ポライトネス他)、英語教育。最近の研究テーマは「英語スピーチアクト・コーパスの構築と大学英語教育に於けるその活用」。効果的に英語コミュニケーションを行うための理論・方法・実践について研究しています。

授業にあたり

【出席と平常点の重視】外国語の履修で一番大切なのは「量と頻度」です。量をこなし繰り返し練習していかないとなかなか身につけません。その意味でまずは出席を重視します。また、一人ひとりの学習機会が増えるように授業中に何度も答えてもらうことがあり、その出来具合も評価の対象になります。授業中の積極性は高く評価しますので、ぜひポジティブな姿勢で私の授業に臨んで下さい。

新入生へのひとこと

東西古今の文化の潮が渦巻く現代社会で、外国語を使いこなす効果的にコミュニケーションを遂行できる能力の重要性がますます高まって来ています。相手の話を理解すると同時に、自分の意思をきちんと伝えていくことが大切です。これからの国際社会の中の日本を担っていく皆さんと共に、「真のコミュニケーション能力」の育成を追究していきたいと思っています。

教授

スズキ トモ

■専門分野
会計学
財務会計

研究内容

Accountingは経済事実を記録するだけの些末な実務と理解されがちですが、社会構築学派とか制度設計学派と呼ばれる立場から政策研究を進めています。インド経済社会のサステナビリティを促進した「One Additional Line革命」や岸田政権の「分配と成長」政策はそうした研究の反映として知られています。ググってみてください。

授業にあたり

戦後の成長期やバブル期を経て成熟経済社会の深化した日本は、欧米とも新興国とも異なる環境にあり、多くの教科書や教員の説明が妥当でないことがままあります。どうぞ教科書や講義内容を妄信することなく批判的精神をもって学習を進めてください。早稲田祭の「早稲田一受けたい授業」企画に採用された授業を展開しています。

新入生へのひとこと

英国で20年程教壇に立っていたため、未だに日本の大学の教育に慣れていません。その意味では諸君と似た環境にあります。ご一緒に既成概念や習慣を疑って望ましい研究や教育を追求してみませんか。ゼミ参加希望の学生は非公式ながら1年生時からご連絡ください。

教授

すなが つとむ
須永 努■専門分野
マーケティング
消費者心理学

研究内容

マーケティング・コミュニケーションが消費者の意思決定や行動に及ぼす影響を研究しています。近年は感覚マーケティング、中でも音楽などの聴覚的刺激に関連する感覚間相互作用に関心を持っています。

授業にあたり

何事も、それを好きでやっている人にはなかなか勝てません。学ぶことがいかに楽しいか、皆さんと共有できたら嬉しいです。

新入生へのひとこと

役に立つ知識を身につけようとするのは大切です。一方で、学問の価値はそうした道具的価値に留まらぬと思います。人は未知の知的世界に触れた時、それが役に立つかどうかにかかわらず、楽しいと感じます。大きな発見や創造的なアイデアの多くは、「役立てるために学ぶ」という常識から解放された知的好奇心から生まれるように思います。

教授

せきね あいこ
関根 愛子■専門分野
会計学

研究内容

会計、監査の実務に長年携わると共に、会計や監査、そして倫理の基準を設定してきた実務家として、その経験を踏まえた実務の研究を行っています。

授業にあたり

会計は、世の中のあらゆる組織の活動内容を数字で表現するグローバル言語であり、企業等の決算に信頼を付与する監査と共に、社会の重要なインフラとなっています。会計にはこれまであまり触れたことがなかったかも知れませんが、その基礎や考え方は、大学卒業後、仕事をするとあたり、また、社会で生きていくにあたって、有用であり、大学時代には是非身に付けて頂きたいと思っています。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。大学では、様々な経験をし、たくさんの方と話し、学び、大学時代でしか得られない充実した貴重な時間を過ごして下さい。

教授

たかせ こういち
高瀬 浩一■専門分野
開発経済学

研究内容

開発経済学。特に、国際協力政策(ODAなど)に関する諸問題を理論的・計量的に分析しています。最近、ミクロネシアが研究フィールドに加わりました。

授業にあたり

講義は成績や単位認定の容易さから選ぶのではなく、真に自分にとって必要である科目を履修してください。大学では良い成績を取ることも大事ですが、敢えて困難な内容にチャレンジする精神も望まれます。その意味で、演習では大学生活の集大成として、しっかりした卒業論文の作成を勧めます。

新入生へのひとこと

何でもよいから、面白そうなことや興味深いことを見つけて、がむしゃらに突き進んでください。

教授

教授

たぐち

なおし

田口 尚志

■専門分野
国際商務論

研究内容

貿易商務論 貿易取引のプロセスに含まれる全ての事象を研究対象とします。現在は特に貿易取引における国際的商慣習に関心があります。

授業にあたり

すべての科目にあてはまりませんが、多くの良書に接してください。先人の叢智を確認しながらも、自分自身の頭で考えることが大切だと思います。

新入生へのひとこと

入学おめでとうございます。これからの4年間は皆さんが思っている以上に早く過ぎ去ってしまいます。早稲田での様々な出会いを通じて毎日を大切に過ごして下さい。皆さんの地道な努力を期待しています。

教授

たにがわ

やすひこ

谷川 寧彦

■専門分野
ファイナンス

研究内容

ファイナンス。最近では、ブロックチェーンを使ってネットワーク上で展開されている金融に関心があります。

授業にあたり

「金融イノベーション」ではフィンテックに関する知識を習得するとともにPythonで機械学習を体験します。「数理ファイナンス」ではデリバティブについて学びながらデリバティブ価格を算出するなどMathematicalによるプログラム作成を体験します。

新入生へのひとこと

学生時代はあっという間です。楽しければ特にそう感じることでしょ。大学生でなければできないことは何か、やっておきたいことは何かを、自分で考え、実行して下さい。自分で決める、選択する、そしてその結果を負うという生活に慣れて下さい。

准教授

教授

たにぐち

まみ

谷口 真美

■専門分野
国際経営
多様性のマネジメント

研究内容

人材の多様性をいかして成果を向上させる組織とリーダーシップとは何かについて研究しています。テーマは、「ダイバーシティ・マネジメント」と「グローバルリーダーシップ」です。

授業にあたり

ダイバーシティ・マネジメント、グローバルリーダーシップは、国内においても、研究面だけではなく、実務面での重要性が増しています。将来、グローバルに活躍したいと考える学生の受講を期待しています。

新入生へのひとこと

国や文化が異なる人々とのチームワークには、他者を尊重し受け入れる姿勢が不可欠です。ただし、これだけでは違いをチームの成果につなげることはできません。物事の見方や考え方が異なる人々との意見の対立を避けず、むしろそこからよりよい解決策を見出そうとするプロセスが必要なのです。4年間で、理論、概念、フレームワークを習得し、経験を通じて成長して行ってください。

教授

たにもと

かんじ

谷本 寛治

■専門分野
企業と社会
企業システム論

研究内容

「企業と社会」「企業システム論」
企業と市場社会（ステイクホルダー）との関係、CSR、ソーシャル・ビジネス、ソーシャル・イノベーションといったテーマについて研究しています。

授業にあたり

いま問われている企業と環境・社会に関わる様々な課題を、理論的・実務的視点から考えます。この領域における基礎知識を押さえ、現実がなぜそうなっているのかを考え議論していきます。とくにゼミではプロジェクト研究に取り組み、自ら調査しプレゼンする能力を高めます。

新入生へのひとこと

知的な好奇心とあくなきチャレンジ精神をもって自らの地平を広げ、既存の境界を越えてグローバルに活躍できる人になって欲しいと思います。

専任講師・講師

教授

なかいで

さとし

中出 哲

■専門分野
損害保険

研究内容

保険事業や保険契約に関する制度・法律の研究。海上保険や再保険などの国際的な保険の研究

授業にあたり

保険は身近にありながら、とっつきにくい印象がありますが、勉強していくと、奥が深く、かつ可能性のある制度であることがわかります。社会・経済の変化やリスクの出現により新たな保険が生まれ、また、保険は見えないところで社会制度を支えています。保険の勉強を通じて保険制度の魅力を理解してほしいと思います。

新入生へのひとこと

何事も懸命にやることによってその面白さが分かり、また力がつくと思います。いろいろなことにチャレンジして、充実した大学生活を送ってください。

教授

なかむら

のぶお

中村 信男

■専門分野
商法

研究内容

会社支配をめぐる法的責任のあり方、結合企業法制、保険法、イギリス会社法、イギリス保険法の比較法的研究、コーポレート・ガバナンス

授業にあたり

ビジネスにとって、法律の知識はリスク管理のために重要ですし、法律問題そのものがビジネスリスクの一つです。その意味で、法律関係の講義で学ぶ知識、考え方は、皆さんがこれから商学部で学ぶビジネス関連科目にとって、また皆さんが将来実社会でさまざまなビジネスに関わる際にも、重要な意義・関連性を持つものなので、問題意識をもって受講してもらいたいと思います。

新入生へのひとこと

皆さん、入学おめでとう。これからの4年間を生かすも無駄にするも、皆さん一人一人の過ごしかた次第です。自分の将来を真剣に見つめ、充実した大学生活を送ってください。

新任

教授

なかむら

中村 みどり

■専門分野

中国語圏の文学・メディア
日本表象

■研究内容

近現代の中国語圏の文学・メディアに描かれた日本体験とナショナリズムやジェンダー・アイデンティティの表出について研究しています。近年では、戦時上海および日本統治を経た戦後の台湾の重層的なアイデンティティについて考察を進めています。

■授業にあたり

全国各地域の固有のアイデンティティを支える根源的な文化の一つ、それが言葉です。中国語の授業では、言葉の習得を通して約14億の人口を抱える現代中国の社会とひととの営みに目を向けたいと思います。また言葉の背景にある、中国語圏各地域の異なる歴史を理解し、時事を多角的に考える視点を身につけることを目指します。

■新入生へのひとこと

大学では、多様な背景の人たちと交流を重ね、価値観を広げながら、同時にまた自分の眼で見て、自分の頭で考える習慣を身につけて下さい。10年後、20年後の財産となります。

教授

はせがわ

けいいち

長谷川 恵一

■専門分野

会計学
管理会計
観光・ツーリズム

■研究内容

戦略的管理会計、宿泊業の管理会計、日本における管理会計論の発展史

■授業にあたり

会計学系統の諸科目は、はじめは技術的な面で（とくに簿記など）が馴染みにくいものですが、会計的なもの見方に次第に慣れてくると社会や組織のいろいろなことを理解することができるようになります。商学部を卒業してからは、会計に関わる業務がどんな組織にも必ずあり、多かれ少なかれ携わることになります。学生のうちから慣れてしまうのも悪くないはずですよ。

■新入生へのひとこと

大学生時代は自由ですが、自由とは、何事も自分で判断し結果についても自分自身で責任を負うことです。

教授

はない

しゅんすけ

花井 俊介

■専門分野

経済史

■研究内容

企業の投資活動と企業統治との関係や成長資金供給における出資者＝資産家の機能など、成長構造に関するミクロ的な歴史研究に関心をもっています。このほか、近世に起源をもつ産業群の発展が近代日本の経済成長にもつた意味について醸造業を事例として共同研究しています。

■授業にあたり

大学の講義や演習で取り上げる問題には、多くの場合、正解が与えられているわけではありませんから、つい抽象的な言葉や議論で自分をごまかしてしまいがちです。しかし、これでは先に進みません。ごまかさずに納得できるまで考えること、つまり知的な誠実さを失わないことが大切だと思います。

■新入生へのひとこと

新入生の皆さん、合格おめでとうございます。これからの4年間で一生の友人と一生の思い出を作ってください。

教授

PARVULESCO Marguerite-Marie

パルヴェューレスコ・マルグリット・マリー

■専門分野

フランス語
比較文学論

■研究内容

比較文学（江戸時代の漢詩と中国詩の比較）
美学論 言葉と文字の関わり（文人画における詩と絵の関係、イタリヤ絵画における文字とイメージの関係、映画における言葉と映像の関係）
翻訳論 日本漢詩と中国詩の翻訳の諸問題

■授業にあたり

高校とまったく違う環境で、新しい勉強が始まります。外国語を習うためには、集中力、記憶力、努力が欠かせませんが、時間をかけた分だけ勉強が面白くなります。フランス語という新しい言葉を習うことによって、新しい考え方に接することになり、世界観が広がります。

■新入生へのひとこと

大学時代の貴重な時間を無駄にしないように。

教授

ひろた

しんいち

広田 真一

■専門分野

ファイナンス
コーポレートガバナンス

■研究内容

世界中の企業がより大きな価値を生み出すためには、その金融面はいかにあるべきか、その組織の望ましい形はどのようなものか、時には理論的に、時には現実のデータを用いて考察しています。また他に「株価はどのように決まるのか？」という問題を、実験経済学という手法を用いて研究しています。

■授業にあたり

私はみなさんに、学ぶことの面白さを知り、大学での学習が思考力と判断力を高めることを実感してほしいと思っています。

■新入生へのひとこと

早稲田のキャンパスで世界の文化・歴史・社会を学ぶとともに、海外の大学生と共に学習・生活・切磋琢磨し、世界中の人々と交流・対話できるといいですね。そして、将来、世界中の誰とでも楽しく意義深い話ができる人になりますように。

教授

ふじた

まこと

藤田 誠

■専門分野

経営学

■研究内容

イノベーション、ネットワーク、産業クラスター等

■授業にあたり

大学の授業・試験には、大学入試までの試験のような正解がないものが数多くあります。その点をよく理解して、勉学に励んでください。

■新入生へのひとこと

大学生時代は、経験を積んで「人間の幅」を広める時期ですので、色々なことに、積極的に取り組んでください。ただし「暇な時間」を持つことも大切ですので、その点も記憶しておいてください。

教授

教授

みつはし ひとし
三橋 平

■専門分野

経営学
組織科学・マクロ組織論

■研究内容

専門は、経営学・組織論です。特に、社会ネットワーク・組織学習・イノベーション・キャリアをテーマとした実証分析を行っています。イノベーションやブレイクスルーを促進する経営政策の提案には、これらの根底にある人間と組織に関する理解が不可欠です。この理解をネットワークと学習の観点から進め、新しい理論構築につながる研究に取り組んでいます。

■授業にあたり

3つのことに心がけています。第1に、受講者の方の興味が高まるよう工夫することです。第2に、自分で手を動かし、考え、持論を形成する機会を提供することです。第3に、その持論が単なる思い込みではなく、論証、実証に基づいたかを問いかけます。

■新入生へのひとこと

幅広い知識・経験と深い専門性が両立したT字型人材を目指してください。

教授

みやかわ だいすけ
宮川 大介

■専門分野

企業ダイナミクス
金融論

■研究内容

企業ダイナミクス(参入・退出、投資、資金調達、成長など)を主たる研究対象として大規模データを用いた実証分析を行っています。金融機関・金融市場に関するテーマにも関心があります。

■授業にあたり

様々なデータ分析のツールが使いやすい形で提供されていますが、これらを正しく利用するためには、理論と実証の繋がりを意識することが効果的です。何のためにどのような分析をすべきかを一緒に考える講義にしたいと考えています。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。4年間の学びを通して、自由に思考出来るようになって下さい。

准教授

教授

みやじま ひであき
宮島 英昭

■専門分野

日本経済史

■研究内容

日本企業システムの経済的機能をコーポレートガバナンスに焦点を当てて分析しています。メインバンクシステム、株式所有構造、取締役会などの機関設計、M&Aの経済分析などが最近のテーマです。また、20世紀の日本企業のデータを構築し、その長期分析にも取り組んでいます。

■授業にあたり

日本経済論や演習では、戦後改革から現在に至る日本企業の構造と行動を追跡し、日本経済の「いま」を理解することを目指します。企業の所有構造はどのように変化してきたのか、なぜM&Aは増減を繰り返し、いかなる役割を演じているのか、どの問題も複雑で、唯一の解答があるわけでもありません。ただ、粘り強い分析によって、自分なりの解答を見出した時、ある種の爽快感が得られるはずです。あなたもスポーツをするように、経済分析の知識を身につける努力を厭わず、じっくり問題を解明する熱意のある学生の参加を期待します。

■新入生へのひとこと

大学の4年間は決して短くはありません。ゆっくり焦らずこの4年間で自分自身の向うべき方向を見つけ出してください。その時心に留めてほしいのは、国際的視野でものを考えてみることです。どうか、この早稲田の地で諸君なりの仕方で「世界」を意識しながら、有意義な学生生活を送ってください。

教授

もうり ひろあき
毛利 裕昭

■専門分野

応用確率過程
最適化
オペレーションズ・リサーチ

■研究内容

私の主たる研究は現象の数理モデル化です。数理モデル化の対象として多様な分野に興味をもっています。商学部であつたような分野から、自然科学や工学的な内容も含まれます。最近、リスク科学にかかわることにも興味を持っています。

■授業にあたり

近年の地球環境の変化や国際問題は、商学部で教えられるさまざまな分野に大きな影響をもたらしています。「授業で学んだことが役にたたないか？」と常にアンテナをはっていきましょう。数理モデルは現象を理解する助けとなります。一方で、現実の問題をうまく表現できないという欠点ももっています。そういう問題を意識しながら勉強してください。

■新入生へのひとこと

入学おめでとうございます。大学での時間は長いようで短いです。苦しい時もあるかもしれませんが、試行錯誤しながら大学での時間を大切にしてください。失敗してもめげずにがんばってください。

専任講師・講師

教授

もりぐち たけし
守口 剛

■専門分野

マーケティング

■研究内容

企業のマーケティング活動と消費者行動に関する実証的研究
近年は、価格戦略、消費者の買物行動、感覚マーケティングなどを中心に研究しています。

■授業にあたり

マーケティング、消費者行動について熱意を持って勉強したいという学生を歓迎します。

■新入生へのひとこと

大学時代は、長い人生の中でもとりわけ貴重な期間だと思います。いろいろなことにチャレンジし、充実した学生生活を送ってください。

教授

もりた あきら
森田 彰

■専門分野

英語学

■研究内容

英語共通語の生成、言語と教育
英米文化、メディアと情報のあり方

■授業にあたり

英語(外国語)科目は、どの科目でも「辞書」が上手に使えるようになることが大切です。紙媒体、電子辞書、ネットの辞書、いずれにせよ辞書に親しみ、活用してください。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。自分これから何をしていくのか。早稲田大学で様々なものを学び、その答えを見つけてください。そして、日本にとどまらず、世界に打って出る気概を養ってください。

新任

教授

やうち よしあき
矢内 義顯

■専門分野
哲学
宗教学

研究内容

アンセルムスと修道院神学、中世キリスト教の他宗教理解

授業にあたり

特にありません。

新入生へのひとこと

一日一時間は本を読んで下さい。

教授

やえくら たかし
八重倉 孝

■専門分野
会計学
財務会計

研究内容

専門は財務会計論です。もっとも関心を持っているのは会計学の研究をどのように行うべきか、という会計学の研究方法論です。

授業にあたり

一見ややこしい会計の様々な約束事が、理由があってそうなっていることを伝えたいと考えて授業を行っています。皆さんは常に「なぜ？本当に？」という健全な猜疑心を持って授業に臨んでください。一緒に疑問を解決していきましょう。

新入生へのひとこと

4年後に「自分の大学生生活を一言でいえば〇〇だ!」と言えるような、大学生活を通して打ち込む何かを見つけてください。それは学業でも、部やサークルの活動でも、自分が胸を張ってこれた、と言えるものであれば何でもかまいません。きっとそれは一生の宝物になります。

教授

やご かずひこ
矢後 和彦

■専門分野
経済史
国際金融史

研究内容

国際金融史・欧米経済史。OECD等の国際機関、1970年代以降における「経済成長」をめぐる言説と実態について、経済史の視点からアプローチしています。

授業にあたり

経済・経営に関するグローバルな見方を歴史の視点から身につけます。英語で読み、書き、語る力も求められます。がんばりましょう。

新入生へのひとこと

楽しく勉強しましょう。これは意外にむずかしく、そして実は簡単なことです。

教授

やすはら あきら
安原 晃

■専門分野
数学(位相幾何学)

研究内容

(組合せ)位相幾何学。図形の持つ位相構造や組合せ構造を代数的な手法を用いて研究しています。

授業にあたり

商学部の数学の授業は、数学の「語学教育」を大切にしています。講義を通して数学の内容を正しく理解する(読む、聞く)練習をします。また、数学の演習(プロゼミ)は、輪講形式(1冊のテキストに関して、履修者が順番に講義する)で行う事により、正しく表現する(書く、話す)練習をします。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。学生時代が良い思い出となるよう、お過ごしください。

教授

やなどり よしお
梁取 美夫

■専門分野
経営学
人事管理論

研究内容

組織の人事管理について研究しています。組織がなぜ特定の人事制度(例:成果主義制度、女性の管理職への積極的な登用)を導入するのか、そしてそうした人事制度が従業員や組織にどのような影響を与えるのかについて興味があります。人事制度が組織のパフォーマンスに与える効果をみる事が多く、戦略論ともみなされる領域で研究しています。

授業にあたり

可能な限り(こちらか一方通行ではなく)双方向で対話する授業をしたいと考えています。こちらが答えられないような質問をするような学生が現れると嬉しいです。その質問が将来の研究につながる可能性があります。

新入生へのひとこと

よく学びよく遊べ!

教授

やまうち あき
山内 暁

■専門分野
会計学

研究内容

無形資産や暖簾の会計について研究しています。現代の会計制度だけではなく過去の会計制度にも関心を持っており、会計の過去・現在・未来という連続した繋がりを意識しながら研究を進めていきたいと考えています。

授業にあたり

世の中には、答えのない問いがたくさんあります。ひとつの問いについて多面的に考えられるようになってもらえることを期待しています。

新入生へのひとこと

早稲田大学の特徴のひとつとして、多様性があげられます。国内外のさまざまな価値観を持った人達と触れ合うことで、柔軟性をもった早稲田生へと成長してください。

教授

准教授

専任講師・講師

新任

教授

やまだ しげる
山田 茂

■専門分野
英語学
辞書学

研究内容

英語学・辞書学。外国人のための英英辞典の研究、英和・和英辞典の編集など。

授業にあたり

妥協せず、地道に努力して下さい。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。活躍の場はキャンパスに限定されませんが、早稲田の“施設”を大いに活用してください。交換留学制度を利用し、在学中に1年程度留学するとよいでしょう。

教授

よこた かずひこ
横田 一彦

■専門分野
国際経済学

研究内容

国際貿易論（貿易自由化の経済的影響）、多国籍企業論（企業の海外展開に伴う様々な事象の解明）、開発経済学（貧富の格差や経済発展）の分野を研究しています。

授業にあたり

大学で学ぶ目的は「卑俗で利己的な目的を軽蔑し、この世界を自分が生まれた時よりも少しでも良くしてこの世を去りたいという高貴な大望を抱く」（J.S. ミル）ようになることです。

新入生へのひとこと

I. カントの言葉を贈ります。

「知る勇気を持って」
「自分の理性を使う勇気を持って」

教授

よこやま まさのり
横山 将義

■専門分野
経済政策

研究内容

経済政策および国際経済学：開放経済における経済政策の効果と有効性

授業にあたり

講義や演習では、経済理論を考察することを通じて、受講生が現実の経済の動きに対する洞察力を養うことを目的としています。受講生には、身近で発生しているさまざまな経済問題に関心を持ち、目的意識をもって講義や演習に出席してほしいと考えています。

新入生へのひとこと

古典派経済学者アルフレッド・マーシャルは、経済分析において「Cool Head and Warm Heart」すなわち「冷静な頭脳」と「温かい心情」を兼ね備えることが必要であると説いています。「ものの見方」や「ものの考え方」を身につけ「冷静な頭脳」を持つとともに、「温かい心情」によって他者への配慮を大切にしてほしいと考えています。

教授

り ほんむ
李 洪茂

■専門分野
損害保険論

研究内容

保険などを含むリスクマネジメントに関する研究

授業にあたり

自然災害を含む危機的な状況が頻発しており、グローバル化・高齢化などにより、社会が急激に変化しています。これらの危機と変化は、リスクと機会を同時に伴うものです。企業などは、リスクを減らしながらも機会を最大限に活用するリスクマネジメントができる人材を求めています。

新入生へのひとこと

新しいことに挑戦し、自分が遭遇することとなる将来のチャンスとリスクをじっくりと考えてみて下さい。それがリスクマネジメントへの出発となるはずです。

教授

わだ むねひさ
和田 宗久

■専門分野
民事法学

研究内容

主に上場会社を念頭に置いて、コーポレート・ガバナンス、情報開示、民事責任に関する制度について研究しています。

授業にあたり

企業に関わる法制度や法解釈は、社会の変化や新たに出現した問題に対応するべく、毎年のように変化しています。学んだり、考えたりすることはたくさんあるかもしれませんが、講義やゼミなどを通じて、様々な問題に対し、多様なアプローチから解決の方向性や具体的な解決手段を導きだそうとする法律学のクリエイティブな側面を感じてもらえたらと思っています。

新入生へのひとこと

早稲田大学やその周辺の環境は、勉強はもちろん、それ以外のことで、皆さん次第でこれからの人生にとってかけがえのないものを与えてくれる場所になると思います。最低で4年間ですが、この環境を満喫しまくってください！

准教授

ALMARAZ Manuela
アルマラス・マヌエラ

■専門分野
スペイン語教授法

研究内容

外国語としてのスペイン語教授法。外国語としてのスペイン語教科書研究。特に、長年日本人にスペイン語を教授した経験を生かした教授法、教科書研究。

授業にあたり

ほとんどの方が英語で試験を受けたと思います。それぞれの方がそれぞれの方法で英語を勉強したと思います。読む、書く、これが二つの柱だと思います。私の授業では、それに「話す」が加わります。積極的に話して下さい。積極的に授業に参加して下さい。一日に一回一語、目についたものをスペイン語でどうだろうか考えて下さい。

新入生へのひとこと

御入学おめでとうございます。あなた自身の将来の目的、大学に何をしにきたのかを再度考え、そしてそれを忘れずに、有意義な学生生活を過ごしてください。

准教授

いちだ としひろ
市田 敏啓

■専門分野
国際貿易論

研究内容

国際貿易に関する理論経済学的研究、生まれつき多次元に多様な才能を持つ人々の人的資本活動の方向性についての研究、産業組織論や情報の経済学などの貿易分野への応用研究、特許政策の研究。

授業にあたり

大学での講義は暗記で乗り切れるようなものではなく、自分の頭を使って考えて理解し、身につけるものです。パズルを解くように脳を使って学問したい人は国際貿易論、国際貿易理論や市田ゼミにチャレンジして下さい。

新入生へのひとこと

入学おめでとう。よく遊び、よく学んで下さい。卒業するまでには、世の中のいろんな出来事について自らの頭で主体的に考え、自分の意見を言えるような人間になって下さい。そのためには、1週間に5冊以上本を読み、友達ととことん語り合ったり、議論したりしましょう。

准教授

EDMAN Jesper
エドマン・ジェスパー

■専門分野
経営学
国際ビジネス

研究内容

主な研究テーマはグローバル化と国際経営です。特に、グローバル化を起す企業戦略、またその戦略に伴う制度変化を研究しています。グローバル化が世の中に大きな影響を与えている中、企業はどのような戦略をとればいいのか？グローバルな市場で競争する企業はどのように組織や経営システムを変えればいいのか？また、その組織的な変化の結果、社会の構造を治める制度(文化や規制)はどのように変化するのか？特に日経企業を注文し、このような質問について研究を行っています。

授業にあたり

授業の一番大事な目的は皆さんをグローバル市場で上手く活躍できる能力を与えることです。国内向け世代はすでに終わっています。将来のグローバルな市場で活躍する為にはもちろんグローバル化に対する具体的な知識が必要です。しかし、それより最も大事なのは自分がグローバルな世界で働ける自身を持つことです。その自身を育成する為授業内では様々な文化や制度を経験させ、複数の観点からグローバル化や企業戦略を議論します。最終的な目的としては皆さんをグローバル人材として育成することです。

新入生へのひとこと

My classes and zemi focus on international business, so the language of instruction is English! If you are interested in a career in international business - either as a researcher or at a company - I encourage you to challenge yourself and join up!

准教授

かのう かずこ
加納 和子

■専門分野
産業組織論

研究内容

企業による商品の価格付けや消費者の購買行動について、産業組織論・ミクロ計量経済学的手法を用いて分析しています。データとして現れる様々な事象の背後にある、人々の選択行動について考えています。

授業にあたり

講義で扱う経済学のモデルは複雑な現実社会に比べれば単純化されたものですが、その分経済活動の本質的な部分が浮き彫りになります。経済学の考え方を学ぶことが、自らの疑問や興味を追求する上での助力になればと思います。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。視野を広げて、いろいろなことにチャレンジしてください。

准教授

KRAUS Manuel Philipp
クラウス・マヌエル・フィリップ

■専門分野
ドイツ現代文学
近代文化史
言語学

研究内容

オーストリア作家のロベルト・ムージル (Robert Musil) とヨーロッパにおける日本受容について研究しています。ムージルの作品は主に身体文化・病理生理学・性・公衆衛生に基づいて分析します。また、明治維新以降の日独医療関係はムージルの作品中にどのように反映されているのか、を明らかにすることが現在の研究プロジェクトです。

授業にあたり

ますますグローバル化されている国際社会において学識あるビジネスリーダーとしてうまく活躍するように専門的な知識と同様に英語以外の外国語を獲得することが常に要求されます。語源学上に英語とかなり類似するドイツ語を楽しく、積極的に学び、様々な場面で実用的、そしてビジネス・ドイツ語として使うことは、授業の目的です。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。ポストコロナ社会においてより新しい授業形態を通してグローバル社会を作る意向を保持しながら、大学生生活を有意義に活かし、多くの知識を身に付ける上に自力で考え、自主的に決断できる人間を目指して下さい。それをサポートするのが私たち教員の役割だし、常に教員と相談しながら新しい自分を発見して下さい。

准教授

こくぶ ひさお
國府 久郎

■専門分野
フランス語圏地域研究

研究内容

フランス近現代史・都市史・社会史。19世紀から20世紀のフランス社会を、都市化の視点から研究しています。例えば、路面電車が都市に敷設されて、人々の生活や人生がどのように変化したのか等に関して調査しています。

授業にあたり

フランス語を学べば、新しい世界を知ることができます。これまでの英語の勉強法にとらわれずに、楽しく、積極的に、新しい言語を習得していきましょう。

新入生へのひとこと

非英語圏の国々では、より親密な交流をするためには、現地で話されている言葉を使う必要があります。卒業後、幅広く世界で活躍するために、英語に加えて、在学中にぜひもう一つの言語を身に付けましょう。皆さんならきっとできるはずです！

准教授

さとう しえ
佐藤 詩恵

■専門分野
英語学
語用論

研究内容

英語学・英語教育が専門です。英語での情意表現や文法外にあると認識されている要素について研究しています。これまであまり着目されていない表現や要素が、実は円滑なコミュニケーションには欠かせない役割を担っています。研究を通して特に異文化間コミュニケーションの際に役立つ情報を発信していきたいと考えています。

授業にあたり

私は英語が大の苦手だったので分からない学生の気持ちがよく分かります。安心して何でも質問し、授業を是非楽しんでください。私も皆さんの疑問や質問から多くのことを学びたいと思っています。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。人生の節目を無事に迎えられたことは素晴らしいことだと思います。大学での学びの一つ一つが、将来の皆さんの人生を深く豊かにしてくれることを願っています。

教授

准教授

専任講師・講師

新任

准教授

しのはら やすあき
篠原 靖明

■専門分野

音声学
音韻論
第二言語習得
認知神経科学

■研究内容

私は、音声の知覚と産出について行動評価や脳波計測の両面から研究をしています。ヒトの音声に対する知覚能力は、使用してきた言語によって大きく異なります。例えば、日本語話者が英語音声を聞く際に、識別しやすい音やそうでない音があるのはそのためです。私は、脳波計（EEG）を用いて、母語環境や第二言語学習経験によって変化したその音声処理能力の解析を行っています。

■授業にあたり

授業では、主に音声学や英語科目を担当しています。学問、ビジネス、生活等、あらゆる分野において他者とのコミュニケーションは必須です。卒業後すぐに世界で活躍できるよう、効率的且つ信頼のおける英語のコミュニケーション能力を身につけましょう。

■新入生へのひとこと

学生時代には、サークル活動やボランティア活動等、勉学だけでなく多くのことを経験して下さい。それらの経験が、将来必ず役立ちます。

准教授

つじうち のぶひろ
辻内 宣博

■専門分野

哲学
倫理学

■研究内容

西洋中世哲学を研究領域としています。一方では、ラテン語原典の精密な読解を通じて、当時の哲学的思考を精密に抽出しながら、他方では、現代の哲学的トピックを視野に入れ、現代のわれわれが見落としがちな論点や思考法を拾い上げています。

■授業にあたり

商学部の新入生にとっては、哲学を勉強する意義は何もないと思えるかもしれませんが。しかし、なぜそうなのでしょうか。この解答はそれほど簡単ではありません。なぜなら、それに解答するためには、商学の学問的な特性を厳密に特定しなければならぬからです。その段階ですでに、実は商学の哲学をやっているのです。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。大学生は、高校生までと比べ、いろいろな場面や状況で、かなり自由に物事を決定できます。しかし、それと表裏一体の形で、どんなことに対しても必ず自己責任が重くのしかかってきます。自由な裁量と自己責任との対応関係を常に念頭におきながら、充実した大学生活を送ってください。

准教授

はら かずひろ
原 和弘

■専門分野

理論経済学
意思決定理論

■研究内容

意思決定理論を専門に研究しています。経済学で用いられる様々な合理性の仮定について数理的手法を用いて研究しています。ゲーム理論にも関心があり、戦略的意思決定についても研究しています。

■授業にあたり

授業も大事ですが本を読むのも大事です。私が最近読んで面白く感じた本のタイトルを書いておきます。『進撃の巨人』『亜人』『健康』から生活をまもる』『実子誘拐ビジネスの闇』『気候変動の真実』

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。これからはルールに従うのではなく合理性に従いましょう。間違ったルールは積極的に無視しましょう。理不尽な「お願い」や「要請」に従って損をしても誰も責任はとってくれません。

准教授

FRANK Bjoern
フランク・ビョーン

■専門分野

消費者行動
国際マーケティング

■研究内容

専門は、顧客関係管理、国際マーケティング、環境マーケティング、そして新商品開発です。企業のCSR戦略及び商品の特徴が顧客価値に与える影響の業種・国の文脈による差、そして企業のそれへの、新商品開発等による対応について研究を行っています。

■授業にあたり

授業では、マーケティング戦略の長期的志向の重要性を強調し、企業が顧客及び社会、環境へのベネフィットを大きくすることで、長期的にそれにかかる費用を上回る収益を生み出すことができるという概念とその実施を解説します。

■新入生へのひとこと

国際的な競争が激しくなりつつある状況下で、大学で習得した知識や能力は、今後のキャリアの基盤となり、その成功により深く関わるようになります。どのような能力を培いたいかを熟考し、その目標を真摯に追及してほしいです。

准教授

ふ よう
富 蓉

■専門分野

応用経済学
医療経済学

■研究内容

経済学の応用分野である「ミクロ応用計量経済学」の研究をしています。ミクロ応用計量経済学は、さまざまな仮説を検証するため、経済学モデルを用いて個人データを分析します。その中で、「医療経済学」と呼ばれる分野が私の専攻です。医療経済学では、医療・介護保険など、医療に関わるさまざまな制度が適正に、効果的かつ効率的に実施されているかを上記の手法を用いて検証します。

■授業にあたり

授業で具体例を挙げることで、学生の皆さんが直観的に経済理論を理解した上、その知識が現実に応用できるように学んで頂きたいと思っております。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。皆さん、大学生にしかできないことを考えてみてください。そして、広い視野の中で、自分の生き方を決めてください。

准教授

ほしの あきお
星野 明雄

■専門分野

保険学
リスクマネジメント

■研究内容

生命保険と損害保険の研究を行っています。保険のニーズや、その前提となるリスク回避選好などに関心があります。また商品開発、保険数理、保険会社の海外事業戦略等について授業を行っています。

■授業にあたり

保険学は、無形の商品を取扱うことなど、特殊な側面を有します。一方で、数理など多くの専門分野を擁し、また社会に広くかかわっているため、学識と実業の結びつきを学ぶ格好の素材でもあります。皆さんに面白く感じてもらえる授業を目指します。

■新入生へのひとこと

入学おめでとうございます。人は、本当にやりたいことに取り組むことで、幸せになれます。早稲田大学に学ぶ格好の機会を生かし、広く社会に目を向けて、自らの興味の対象を見出だしてください。

准教授

MALEN Joel

マレン・ジョエル

■専門分野
経営学
経営戦略論

研究内容

My research explores the relationship between business strategy and the natural environment. In particular, I explore how strategy decisions can evolve dynamically over time and promoter or hinder broader system-level transitions toward a more sustainable relationship between human society and natural ecosystems.

授業にあたり

Students will learn about important macro-level issues that successful managers must address to be successful in business today. In addition to traditional strategy tools we will study how evolutionary and systems perspectives along with the use of empirical data can help us develop a more complete picture of the context in which strategy must be developed. Through class discussions, data analysis, presentations and written assignments, students will learn how to develop business ideas strategies and develop their critical thinking skills.

新入生へのひとこと

Today, technological development and constraints on human activity posed by natural ecosystems, among other factors, place novel demands on how businesses create, deliver and capture value. However, these same challenges also create incredible new opportunities for smart companies. The successful managers of the future will understand how to compete in a complex, interdependent and evolving world while maintaining a healthy environment and society.

准教授

むらせ としお

村瀬 俊朗

■専門分野
経営学
社会心理学

研究内容

リーダーシップ、チームワーク、モチベーション、職務満足など、様々な組織の「人」に関するテーマを研究するゼミです。3人組の研究班を組み、学生主導でテーマを設定し研究を行います。「どんなリーダーシップがチームワークを高めるか」「モチベーションはなぜ高まらないか」など、みなさんも過去に一度は疑問に思ったことがあるのではないのでしょうか。私たちの身近にある「人」の疑問を、データを用いた仮説検証を通して、自分自身の解を見つけます。

授業にあたり

ゼミは、「レクチャー、リサーチプロジェクト、プレゼンテーション」の3本柱で構成されています。まずは、並行履修科目の組織行動論とゼミのレクチャーを通して基礎知識を身に付けてもらいます。次に、プロジェクトを通して、チームメンバーとテーマを議論し、データ分析を行い、自らの解が正しいかを検証します。最後に、研究結果をクラスでプレゼンし、コミュニケーション能力を鍛えます。2年の間にいくつものグループプロジェクトを行い、総仕上げとしてグループで卒業論文に取り組むことで、「自らの頭で考え、議論し、行動できる」人材へ成長してもらうことが、ゼミの目標です。

新入生へのひとこと

村瀬ゼミの目標は早稲田大学でユニークなゼミを作ることです。ゼミで研究に真剣に取り組み、加えて「work hard & play hard」の精神で学生生活を送りたい方々の応募をお待ちしています。

准教授

もりもと よしはる

森本 栄晴

■専門分野
スペイン語音声学

研究内容

比較音声学・音韻論
比較音声学・音韻論
スペイン語と日本語の様々な音声特徴の比較研究をしています。両言語の発音はよく似ていると言われていて、他の外国語よりも類似点が多いことは確かですが、相違点も少なくはありません。最近には特に、「ラ行」音について、スペイン語と日本語のみならず、他の言語との比較もしています。

授業にあたり

効率よく体系的にスペイン語の基礎文法が理解できるように説明をします。授業には欠かさず出席なされ、予習よりも復習に時間を割いて下さい。やり方次第でスペイン語は必ずものになります。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。4年間は長いようでも瞬間に過ぎてしまいます。目標をしっかり定め、有意義で充実した学生生活をお過ごし下さい。

准教授

やまぐち よしかず

山口 祥司

■専門分野
幾何学

研究内容

位相幾何学。図形のどのような特徴が図形の長さや角度の計り方（幾何構造）に影響を受けるのか、また図形のどのような特徴が図形の長さや角度の計り方（幾何構造）に影響を与えるのかを代数的・解析的な手法で研究しています。

授業にあたり

大学での数学では、結論を理解することと同じく結論に到る過程を丁寧にたどることも大切になります。また問題を解くことと同じく理解した内容を正しく表現することや伝えることも重要になります。授業では問題へのアプローチや数学の内容とともに背後にある論理の過程も説明していきます。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。いろいろな刺激を栄養にして頭脳と人間性を養ってください。

准教授

やまのい じゅんいち

山野井 順一

■専門分野
経営学
経営戦略論

研究内容

企業の競争行動と協調行動の相互作用、ならびに、海外直接投資の特性と決定要因を定量的手法により分析している。現在の研究課題は、二企業間における複数の企業間提携、企業間提携に対する投資期間の時間的志向の影響、同族経営の海外直接投資の特性、海外直接投資における地域統括会社の立地選択である。

授業にあたり

授業では、単なる理論の学習で完結するのではなく、具体的な事例をその理論を用いて分析することで、理論の実務的応用を習得して欲しい。

新入生へのひとこと

目標を定め、それに到達するための道筋を明確にし、そこに注力をすれば、多くのことは達成可能である。学生は、自身のキャリア上の目標を達成するために、目標を常に意識し、大学での時間という貴重な資源を有効かつ能率的に利用して欲しい。

准教授

わたなべ のぶや

渡邊 展也

■専門分野
トポロジー

研究内容

トポロジー、特に、低次元ダイナミクス

授業にあたり

予習復習をどンドンやって下さい。

新入生へのひとこと

入学おめでとうございます。

教授

准教授

専任講師・講師

新任

専任講師

あさり ようこ
浅利 庸子

■専門分野

英語教育
第二言語習得論

■研究内容

専門は英語教育・第二言語習得論です。特に英語学習者のスピーキング・ライティングの中で起きるエラーに対してどのようにフィードバックを与えるかについて研究してきました。最近では定型表現の使用によってどのように英語非母語話者が正確かつ流暢に発話できるようになるかについて研究を進めています。

■授業にあたり

学生が英語を必要としている理由をしっかりと意識した授業を行いたいと思います。卒業後、グローバルな場面でも信頼を得られるような英語運用能力を通してコミュニケーション能力全般が身につくような授業ができればと思います。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。早稲田大学で好きになれる学問に出会い、支えあえる仲間を見つけ、最高の思い出を作ってください。

専任講師

まつかわ ゆうや
松川 雄哉

■専門分野

フランス語教育

■研究内容

主な研究領域は言語教育学（フランス語）です。フランス語学習において、効率よくレベルアップするためには、どの語彙をどのくらい覚えたらよいのかといったことを現在の検証課題としています。また、カナダのケベック州に留学していたため、ケベックの伝統文化や移民のためのフランス語教育についても研究しています。

■授業にあたり

英語以外の外国語をもう一つしっかり学ぶと、皆さんの母語や英語の「語感」が磨かれたり、勉強の仕方そのものを学べたりといった様々な良い効果があります。クラスメイトと協力しながら楽しくフランス語を勉強してもらえればうれしいです。

■新入生へのひとこと

言語に限らず、学習とは試行錯誤の連続です。自分自身に限界を設けず、「とりあえずやってみよう」の姿勢でなんでもチャレンジしましょう。

専任講師

やなぎばし だいすけ
柳橋 大輔

■専門分野

ドイツ文学
メディア研究

■研究内容

近現代ドイツ文学と映像文化、とりわけヴァイマル期前後のドイツ映画および映画理論・メディア理論が主な研究テーマです。さらに、文学作品の映画化（アダプテーション）などの比較メディア研究や、メディアを越境する文化表象の変奏にも関心をもっています。

■授業にあたり

アニメなどポップカルチャーのなかには、ドイツ文化にそのルーツをもつモチーフがしばしばみられます。ドイツ語やドイツ文化に親しむことをきっかけに、日常に潜む文化的多層性への気づきを得てもらえたらうれしいです。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。新しい価値は、往々にして従来の文化をそれまでとは異なる方法で組み替えることによって生じます。過去のコンテンツのなかにイノベーションの鍵を探してみませんか。

講師

キム テソク
Kim Tae-Seok

■専門分野

国際ビジネス

■研究内容

My research interests lie in the interaction of social network theory and strategy research. I am interested in studying how social relationships between firms and individuals impact their outcomes. I focus on various fields, including international business, innovation, and labor markets.

■授業にあたり

I hope you engage in class with open perspectives and provide other students with constructive feedback.

■新入生へのひとこと

Business students should be able to critically analyze problems, come up with creative solutions, and professionally present their arguments. I hope you can develop these skills at Waseda University.

講師

きん えきぐん
金 奕群

■専門分野

会計学

■研究内容

財務諸表情報の媒体・表示形式と利用者における情報処理コストに注目しています。最近では、情報開示直後の資本市場反応を観察するために、イントラデイデータを用いる実証分析を行っています。

■授業にあたり

会計は実務から離れられない学問であるため、実学主義を徹底し、将来に役立つことを一緒に学びましょう。

■新入生へのひとこと

早稲田大学にいる時間を楽しく過ごしてください。

講師

にしわき たかし
西脇 貴

■専門分野

理論経済学

■研究内容

私の研究分野は金融経済学です。特に、投資家の性質の違いが、市場における彼らの資産選択もしくはそれを反映した市場価格に与える影響を理論的に分析することに関心を持っています。

■授業にあたり

長く自転車に触れてなくとも乗れなくなることはないように、身体的に理解したものは、簡単には失われたいと思います。みなさんが理論を知識としてではなく感覚的に理解できるよう、出来る限りの工夫をしたいと思っています。このために、学生のみなさんには、理論的な内容をわかりやすい言葉で他者に伝えるということを目指してもらいたいです。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。大学の4年間が、みなさんの長い人生で情熱を注げる対象を見つけるのに十分な時間となる事を願っております。

講師

りゅう

ぎよくてい

劉玉婷

■専門分野

広告論

マーケティング・コミュニケーション論

■研究内容

広告におけるインクルーシブデザインについて研究しています。これは、多様性を視野に入れたデザイン手法であり、幅広いユーザーの使いやすさを目指しています。最近、広告メッセージの視認性について考察しています。

■授業にあたり

授業では理論的な解説だけでなく、具体的な事例を用いながら知識への理解を深めていきます。その上で、皆さんが学習した内容を身近な事例で説明できるようになることを期待しています。

■新入生へのひとこと

期待と不安の中で、新生活が始まりますが、これからたくさんのことを学び、たくさん経験をして、充実した大学生活を送ってください。

■ 新任教員紹介

教授

准教授

いしい ひろあき

石井 裕明

■ 専門分野

マーケティング・コミュニケーション
消費者行動

研究内容

マーケティングやマーケティング・コミュニケーション、消費者行動などについて研究しています。近年は、五感を活用したマーケティング・コミュニケーションが消費者に与える影響に注目をしています。

授業にあたり

マーケティング関連科目の面白さの一つは、講義で取り上げる内容が日々の生活に密接に結びついていることです。是非、講義で聞いた内容と普段の生活で目にする企業活動を結び付けてください。そうすると、講義がもっと面白くなるはずです。

新入生へのひとこと

入学したばかりの皆さんは卒業をまだまだ先と感じているかもしれません。ただ、卒業を迎えた学生に聞くと大学生活はあっという間だったという方が大半です。是非大学での一日一日を無駄にせず、満喫していただければと思います。

准教授

バウワー・ジャック・ビクター

■ 専門分野

英語教育、コンピュータ支援言語学習
教育実践への共通ヨーロッパ言語参照枠
(CEFR)の導入
言語テストの設計と妥当性の検証

研究内容

私の研究は、コンピュータとソフトウェアを活用した革新的な英語学習方法の調査、CEFRを用いた日本の大学における言語教育の質の向上、及び英語能力試験の設計と妥当性の検証に焦点を当てています。

授業にあたり

授業では英語による積極的なコミュニケーションと自己表現を重視します。定期的なクイズとインタラクティブな活動を通じて、学生の言語技能の大幅な向上を目指しています。

新入生へのひとこと

早稲田大学への入学を心からお祝します！グローバル化する世界において、英語の習得は極めて重要です。グローバルビジネスリーダーとしての成長に向けて、英語学習における全面的なサポートを提供します。一緒に励み、卓越した成果を目指しましょう！

准教授

准教授

ロペスハラ・サンティアゴ

■ 専門分野

スペイン語・日本語対照言語学

研究内容

専門はスペイン語・日本語対照言語学ですが、近年はスペインの地方の問題を研究しています。観光とテレワークに力を入れて、地方の経済を活性化させ、面している問題(人口減少、少子高齢化、など)を解決しようとしているいくつかの地方があります。この復興政策は私の研究テーマです。

授業にあたり

日本語母語話者にとってスペイン語の発音は、限られた音以外、難しくありませんが、間違えないでください。スペイン語は難しいですよ。一方、明るくて楽しい言語ですよ。我々はコミュニケーションを取るのが好きな民族ですからね。

新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。若いですから、うまく工夫すれば、「楽しむこと」も「勉強すること」もできるでしょう。学生生活を楽しんでください。

講師(テニュアトラック)

つじもと ゆうすけ

辻本 祐介

■ 専門分野

ファイナンス

研究内容

主な研究領域は実証コーポレートファイナンスです。非伝統的な金融政策が企業や金融機関の活動に及ぼす影響や、企業のESG活動の研究も行っています。

授業にあたり

ファイナンスの知識は、将来金融機関で働くにしても、一見「金融」に関係ないような仕事に就くにしても、もしくは自身で起業するにしても、ダイレクトに役に立つと私は信じています。皆さまがより良いキャリアを築き、社会にも良い影響を与えられるようになる手助けになれば、教員冥利に尽きます。

新入生へのひとこと

私の現在の研究者としてのキャリアがあるのは、多くの方々から私を信じて与えてくださった「機会」(opportunity)のおかげです。皆さまに価値のある成長の機会を提供できるよう、私も研究者・教育者として励みます。

専任講師・講師

講師(任期付)

いむ そよん

任 素英

■ 専門分野

保険・リスクマネジメント

研究内容

国際貿易をめぐるリスクは、サイバリスクや地政学的なリスクなどで急速に変化し多様化しております。特に、資源の乏しい日本や韓国のような国は、変化する国際貿易リスクを分析して迅速にその対応策を国際貿易に適用することが、持続できる国の経済のためには、欠かせない永遠のテーマとなります。この貿易リスクマネジメントにおける貿易保険などのリスクファイナンスの活用や貿易取引の各種手法を利用したリスクマネジメントに関する研究を行っています。

授業にあたり

資源の乏しい国における国際貿易は、国の経済の持続のためにとても重要です。この貿易の仕組みや実態を理解することは何よりも重要です。皆さんが自ら国際貿易をめぐるリスクを見つけて対応策を提示してみてください。その過程はとても楽しい自分の発展となるはずです。

新入生へのひとこと

入学おめでとうございます。大学生活の4年間、リスクを恐れずに様々な経験をしてください。大学で学んだ知識と経験が皆さんの将来の開く鍵となります。

講師(任期付)

かわなか だいじろう

川中 大士朗

■ 専門分野

行動経済学
実験経済学
ゲーム理論

研究内容

行動経済学の研究をしています。数学的な理論を用いて心理学的な現象を表現したり、実験データを用いてその理論仮説を検証したり、そうした理論モデルを公共政策や企業経営の分析に応用したりする分野です。

授業にあたり

受講者と意思疎通する機会を頻りに設けて双方向的な講義を行うことを心掛けます。

新入生へのひとこと

微分積分学と線型代数を勉強しましょう。経済学や統計学だけでなく様々な学問や技術を習得する上で、微分積分学と線型代数の知識が前提とされます。若い間に微分積分学と線型代数を勉強しておけば、人生の各場面における選択肢が広がるはずです。

新任

講師（任期待）

くお れーうゑん
郭 楽文

■専門分野

株式市場のマーケティングデザイン

■研究内容

株式市場のマーケットマイクロストラクチャーと流動性を研究しています。特にアメリカと日本の株式取引データを基づいて、株式におけるマーケティングデザインを研究しています。

■授業にあたり

今年の証券論を担当して、受講生の皆さんの活躍を期待しています。授業中で積極的にディスカッションやプレゼンテーションを取り込んでください。

■新入生へのひとこと

四年の大学生生活に楽しんでください。

講師（任期待）

くろだ しょう
黒田 翔

■専門分野

実証ミクロ経済学

■研究内容

環境経済学の視点から、ミクロ経済学を基礎とした実証研究（人々の行動データを収集して、統計学・計量経済学のツールを使ってそのデータを分析すること）を行っています。

■授業にあたり

大学の授業は、講義内容を理解するための行動を学生の皆さんが主体的に起こすことを前提として設計されています。難しい内容に出くわしたら関連図書を探して理解の緒を探しましょう。

■新入生へのひとこと

高校から大学に進学したタイミングで多くの「ルール」が変わります。「授業選択の自由度が増した」程度にとどまる話ではありません。何が・なぜ・どのように変わり、皆さん一人ひとりがその変化にどのように適応することができるのかを考えてください。

講師（任期待）

ちん き
陳 曦

■専門分野

言語学

■研究内容

言語学を専門にしています。言語の韻律、主に中国語の声調、日本語のアクセントに関する研究をしています。最近では言語の聴覚印象についても関心を持っています。

■授業にあたり

受講生の皆さんが新しい言語を学ぶ楽しさを味わえるようサポートできればと思います。一緒に授業を作っていきます。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。新しい言語に挑戦したり、異なる文化に触れたりするなど、さまざまなことを体験し、大学生活を満喫してください。

講師（任期待）

やぎ じゅんいち
八木 淳一

■専門分野

マルチモーダル会話分析
エスノメソドロジー
応用言語学

■研究内容

連鎖的に組織された相互行為空間の中で教え、学ぶことの「間身体性」(intercorporeality)「多感覚性」(multisensoriality)について、また、マルチモーダル会話分析の知見を言語教育の現場に応用することに興味があります。最近では、主に音楽・スポーツ等のパフォーマンス場面に焦点を置いて研究しています。現在の関心は、サブカルチャーやライフスタイル・スポーツ（例：スケートボード）における「遊び」と「学び」の関係性についてです。

■授業にあたり

楽しむ時とやる時のメリハリをつけて、皆さんと協力しながら良い授業にしたいと思います。

■新入生へのひとこと

ご入学おめでとうございます。よく学び、よく遊び、たくさん思い出を作って、素敵な大学生活を送ってください。

助教

しょう けつ
邵 傑

■専門分野

保険学

■研究内容

研究領域は保険経済学です。経済学の様々な手法を用いて、保険消費者行動、保険制度の在り方や保険に関する政策の効果、適正性、効率などを研究しています。

■授業にあたり

保険は奥深い学問として、基礎知識は大切ですが、急速に進化している世界において、自分が学んできた最新の知識を世の中に活用できるように勉強していただきたいと思っています。授業で保険制度の魅力を味わいに行きましょう。

■新入生へのひとこと

皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの4年間、たくさんのご経験を、自分の未来を真剣に考えて、充実した学生生活を送ってください。

稲龍会とは

「稲龍会」は、早稲田大学商学部卒業生で、会社の役員および役職経験者の方を中心に、1988年に作られた任意団体です(名誉会長：故竹下登 元内閣総理大臣)。現在では、商学部卒業生に限ることなく、法人の管理職以上または同経験者の早稲田大学卒業生を対象に会員を募集しています(2023年12月現在 会員数139名)。

「稲龍会」では、定時大会やさまざまなテーマによる講演会・ビジネスセミナーの開催、大学が行う研究活動へのご案内等を通じて、会員相互の交流と情報交換の機会を設けるとともに、会員と早稲田大学の関係を密にし、早稲田大学商学部の発展に資することを目的としています。

● 稲龍会の活動について

「稲龍会」では、会員相互の交流と情報交換の場として、定時大会、講演会、ビジネスセミナー等、さまざまなイベントを開催しています。講師は、ビジネスリーダーはもとより、政治家、マスコミ関係者、作家など多士済々です。

詳細は、ホームページ等の案内でご確認ください。

稲龍会の歴代講演者

※所属は講演当時

開催日	講演者(敬称略)	演題
2018年5月	評論家、公益財団法人大宅壮一文庫理事長 大宅 映子	みんな違っていい～もっと個の確立を
2018年11月	(株)クレスト代表取締役社長 永井 俊輔	現代社会における企業のサステナビリティ
2019年5月	日本電子(株)取締役兼専務執行役員 福山 幸一	多様化するマーケットにおけるグローバル戦略 ー黒船襲来に立ち向かうー
2019年11月	早稲田大学商学学術院准教授 村瀬 俊朗	激動の時代を生き抜くリーダーシップ
2021年5月	早稲田大学社会科学総合学術院教授 中林 美恵子	バイデン新政権下のアメリカと日米関係
2021年11月	岐阜女子大学副学長、元週刊文春・月刊文藝春秋編集長 木俣 正剛	私だけが知っている文春砲のウソホント
2022年5月	元早稲田大学ラグビー蹴球部監督 三菱重工業(株)成長推進室営業シナジー推進部 担当部長 相良 南海夫	早稲田ラグビー復活の軌跡～甦る組織(チーム)作りのプロセス
2022年11月	早稲田大学商学学術院教授 商学部長 横山 将義	商学部のさらなる飛躍に向けて ～創設120周年を迎えるにあたって～
2023年5月	読売新聞元ロンドン特派員、 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ取締役会諮問委員 渡辺 寛	応援役に回って、妻は医師・作家に
2023年11月	早稲田大学商学学術院教授 関根 愛子	サステナブルな社会を支える公認会計士の取り組み

● 稲龍会支援による商学部国際化推進プログラム実施報告

2015年度より商学部への新たな支援体制として、稲龍会の基本金を活用した商学部国際化推進プログラムを実施しています。

・稲龍会提携講座の設置

学生の金銭的負担の軽減や、より充実した環境での学びの場の創出を目的として、「Japanese Business」に対して寄附を行い、提携講座を設置しています。

「Japanese Business」は講義形式の授業だけでなく、国内の有力企業と連携しながらビジネスの現場を体験することができる内容を構築しています。

※2024年は休講です。

・派遣留学のための奨学金給付

派遣留学の促進を目的として、稲龍会からの寄附金をもとに、海外へ留学する商学部生に奨学金を400,000円(年間 ※半期留学の場合は半額)給付しています。

給付対象は、箇所間協定で留学する優秀な商学部生とし、学業成績、書類審査にて選考を行っています。

商学部国際化推進プログラムの詳細は、学部事務所までお問い合わせください。

幅広い情報を活用するために

データベースの検索の仕方



卒業論文やレポートを執筆する際には、先行研究や、企業のデータなど幅広い情

報を収集しなければなりません。早稲田大学では、たくさんの有益なデータベースが利用できることをご存知でしょうか。大学ホームページの「データ集」から「学術情報検索」(<https://waseda-jp.libguides.com/imas>) をクリックしてください。「WINE」では、早稲田大学図書館の所蔵資料や電子資料を検索できます。「データベースリスト」では、大学が契約している

データベースやツールを探すことができます。まずは、「おすすめのデータベース」から選択して、使ってみましょう。以下に、よく使われるデータベースを表にまとめて、ご紹介します。

データベースはルールを守ってご利用ください。学術情報検索>ヘルプ>「電子資料の利用上の注意」をお読みください。

情報の種類		データベース	
所蔵資料・電子資料	日本語／外国語	WINE	早稲田大学図書館の所蔵資料や電子資料に加え、「論文・記事」の検索もできます。検索結果から大学契約データベースのコンテンツにアクセスできる場合があります。
論文	日本語	CiNii Research	国内の学術雑誌の論文等の文献検索ツール。機関リポジトリ等の研究データや研究プロジェクト情報などを含めて横断検索することができます。
		早稲田大学リポジトリ	本学の研究者等が作成した学術論文、学位論文、紀要論文、ワーキングペーパー、会議録等の学術情報を保存・公開しています。
雑誌・新聞記事	日本語	日経テレコン21	日本経済新聞社が提供する記事、企業、人事情報の検索と閲覧ができます。
		経業デジタルライブラリ	「週刊ダイヤモンド」(1913～2018)、「DIAMOND/ハーバード・ビジネス・レビュー」(1976～2016)、「週刊エコノミスト」(1960～1979)の全文記事をPDFで閲覧できます。
		日経BP記事検索サービス	日経BP社が発行する雑誌のバックナンバー記事を閲覧できます。 ※短時間に大量に閲覧しないでください。
		東洋経済デジタルコンテンツライブラリー	「週刊東洋経済」「会社四季報」など東洋経済新報社刊行の雑誌・企業情報誌の記事を閲覧できます。
		ジャパンナレッジ Lib	事典や辞書を中心とした総合データベース。「情報・知識imidas」「現代用語の基礎知識」ほか、多数のコンテンツを提供しています。
	外国語	EBSCO Business Source Premier	経済・経営・ビジネス関連の書誌データと全文データが含まれています。
		ABI/INFORM Collection	ビジネス・経営・財務・貿易等の関連分野をカバーする全文雑誌・新聞データベースです。
企業情報	日本語	日経バリューサーチ	国内上場全社および非上場企業の情報を含む、企業・業界分析ツールです。
		日経NEEDS-FinancialQUEST	企業財務、株式・債券、マクロ経済、産業統計などの経済データを検索、ダウンロード可能です。
		eol	日本企業の有価証券報告書の原文データおよび財務諸表などの数値データを含みます。
	外国語	OSIRIS	全世界の上場会社の財務情報を提供する包括的なデータベースです。
		ProQuest Historical Annual Reports	800社以上の北米主要企業の年次報告書(1844～2008)。

剽窃に関する注意

すでに出版されている書籍、論文、雑誌などから理論や統計資料などを引用する場合、ルールに則らないと、著作権上の問題が発生する可能性があります。

文化庁のHPによると、引用として認められるためには、(1)他人の著作物を引用する必然性があること、(2)かぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分とが区別され

ていること、(3)自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること(自分の著作物が主体)、(4)出所の明示がなされていること、に注意しなくてはなりません。

本学では、レポート等での不正行為をした場合、委員会にて審議の上、退学または当該科目を含む履修中の全科目の単位を不可(F)とし、無期停学に付されます。また、

2012年度より教員向けに「レポート類似度判定機能」が導入され、不正なコピー&ペーストがされていないかどうかチェックが可能になりました。レポートの執筆には常に厳粛な態度で臨み、慎重に取り組みましょう。

●参考HP

文化庁ホームページ
(<https://www.bunka.go.jp/index.html>)

寄附講座・提携講座等とは

民間企業など大学外部の組織から、寄附された資金や人材をもとに実施される授業です。商学部では日本を代表する企業や、各業界でトップとして活躍しているの方々による「ビジネス界の今」を伝える講座を行っています。

※原則として、ガイダンスと理解度の確認を含む全14回行われます。講師は、都合により変更となる場合があります。

以下の掲載は、2024年3月時点の内容です。担当教員および講義内容が更新される場合がありますので、最新の情報はWebシラバスをご確認ください。

● 2024年 春講座

ブルデンシャル生命保険株式会社寄附講座 営業学

ブルデンシャル生命保険(株) 寄附講座

専門教育科目 2単位 コーディネータ:星野 明雄(商学学術院 准教授)

営業学の概要 商学学術院 准教授 星野 明雄

営業を科学する ブルデンシャル生命保険 横浜第一支社 支社長 高橋 篤志

オープニングインタビュー ブルデンシャル生命保険 東京第九支社 エグゼクティブ・ライフプランナー 高見 卓也

ファクトファインディング ブルデンシャル生命保険 大崎第三支社 エグゼクティブ・ライフプランナー 多田 雄一

プレゼンテーション ブルデンシャル生命保険 品川第八支社 シニア・コンサルティングライフプランナー 江森 陽子

クローズング ブルデンシャル生命保険 横浜東支社 エグゼクティブ・ライフプランナー 山本 竜政

顧客体験(CX) (株)野村総合研究所 田中 達雄

ワーク① 商学学術院 准教授 星野 明雄

ワーク② 商学学術院 准教授 星野 明雄

アフターフォロー ブルデンシャル生命保険 横浜第一支社 シニア・ライフプランナー 近藤 有希

営業の未来 専修大学 商学部 客員教授/東京大学 工学部 特別講師 東京工業大学 情報理工学 非常勤講師 岡田 伊策

営業の醍醐味 ブルデンシャル生命保険 品川第三支社 エグゼクティブ・ライフプランナー 森 拓也

課題優秀者表彰 課題レポートフィードバック 商学学術院 准教授 星野 明雄

KANEMATSU・WERU INVESTMENT寄附講座 起業家養成講座(文理融合)

兼松(株)/ウエルインベストメント(株) 寄附講座

専門教育科目 2単位 コーディネータ:池上 重輔(経営管理研究科 教授)

河村 耕平(政治経済学部 教授)

瀧口 匡(経営管理研究科・商学部 客員教授)

村元 康(商学部・環境エネルギー研究科 客員教授)

ガイダンス(チームビルディングとダイバーシティ)

経営管理研究科 教授 池上 重輔

政治経済学部 教授 河村 耕平

経営管理研究科・商学部 客員教授 瀧口 匡

商学部・環境エネルギー研究科 客員教授 村元 康

シリコンバレーの起業の現実(仮)(米起業家との直接セッション)

経営管理研究科・商学部 客員教授 瀧口 匡

Novity Co-founder & CEO Markus Larsson

WERU Investment Head of Research Kiichiro Deluca

事業創造のフレームワークとしてのブルーオーシャン戦略

経営管理研究科 教授 池上 重輔

起業の経済環境

政治経済学部 教授 河村 耕平

グローバル・アントレプレナーシップ(仮)

経営管理研究科 教授 東出 浩数

WERU Investemnt Chairman Hiro Higashide

グローバルスタートアップに必要な会計の知識(仮)

経営管理研究科 教授 西山 茂

テクノロジーの収益化ービジネスモデルの9分類

商学学術院 教授 井上 達彦

シリコンバレーの歴史とこれからの姿(仮)

AZCA Inc. Managing Partner 石井 正純

経営管理研究科・商学部 客員教授 瀧口 匡

Contributing to sustainable well-being

Spiber(株) 取締役兼代表執行役 菅原 潤一

日米のスタートアップ投資の比較から見えてくること(仮)

経営管理研究科・商学部 客員教授 瀧口 匡

WERU Investment Head of Research Kiichiro Deluca

シリコンバレーから見た事業創造の世界

兼松(株) 車両・航空部門 車両・航空統括室 室長 西川 真史

マツダ(株) MaaS事業準備室 シニアスペシャリスト 吉田 景太

ケーススタディ:CoreTissue BioEngineering社(シリコンバレーからオンライン)

CTBE President & CEO 和氣 千明

WERU Investemnt Head of Investment 菊池 慶輔

経営管理研究科・商学部 客員教授 瀧口 匡

ケーススタディ:LeoLabs社(シリコンバレーからオンライン)

LeoLabs社 Director Kiichiro Deluca

LeoLabs社 Founder & CEO Daniel Ceperly

経営管理研究科・商学部 客員教授 瀧口 匡

いなば食品株式会社寄附講座 日本企業による国内・海外戦略

いなば食品(株) 寄附講座

(2024年度未定のため、2023年度の内容を掲載しております)

専門教育科目 2単位

コーディネータ: 恩蔵 直人(商学大学院 教授)
河村 耕平(政治経済学大学院 教授)

いなば食品の国内・海外戦略-1 いなば食品(株) 代表取締役社長 稲葉 敦央

Vibrant INOCHIを世界に発信! ~神奈川県知事 黒岩 祐治

いなば食品の国内・海外戦略-2 いなば食品(株) 代表取締役社長 稲葉 敦央

独創と挑戦 いなばの海外戦略 いなば食品(株) 取締役専務執行役員 事業本部長 稲垣 知英

コニカミノルタのグローバル経営と主要事業の成長戦略について
コニカミノルタ(株) 取締役執行役員 山名 昌衛

住友林業のつくる未来 Mission TREEING 2030 ~ウッドサイクルで実現する脱炭素社会
住友林業(株) 代表取締役執行役員社長 光吉 敏郎

社会環境デザインの先端を拓く (株) 日建設計 代表取締役会長 亀井 忠夫

これからのモノづくりDX ヤマハ発動機(株) 執行役員 生産技術本部 本部長 村木 健一

長期ビジョン「VISION2030」の実現に向かって
(株) アシックス 代表取締役社長 廣田 康人

DICが描く、素材メーカーの未来 ~長期経営計画 DIC Vision 2030に込めた思い~
DIC(株) 代表取締役社長 猪野 薫

テレビ業界の未来 読売テレビ放送(株) 取締役副社長 松田 陽三

感じよい暮らしと社会 ~消費社会から考える~
(株) 良品計画 代表取締役会長 金井 政明

学校法人大原学園寄附講座 ビジネス・プロフェッション

学校法人大原学園 寄附講座

専門教育科目 2単位

コーディネータ: 高瀬 浩一(商学大学院 教授)
村元 康(商学大学院 客員教授)

会計プロフェッション①簿記一巡(取引・仕訳) 取引の記録方法、勘定記入の法則
~企業会計を学ぶと世界の見え方が変わる!!~
商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司

会計プロフェッション②商品売買・現金および預金等 商品売買の記帳方法、三分割法、現金・当座預金の記帳方法
~超短時間で基礎を網羅的に身につける方法!!~
商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司

会計プロフェッション③債権債務・有形固定資産等 約束手形・電子記録債権および電子記録債務の記帳方法、固定資産台帳
~進化する取引方法にも対応する最新簿記を見る!!~
商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司

公認会計士合格者トークセッション 公認会計士有資格者による合格者座談会
講師選定中

会計プロフェッション④決算 英米式決算法、精算表
~簿記検定試験の本試験レベル問題を解く!!~
商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司

会計プロフェッション⑤損益計算書および貸借対照表 損益計算書および貸借対照表の作成
~早くもIFRS(国際財務報告基準)を視野に入れる?!~
商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司

会計プロフェッション⑥財務分析等 実際の企業の最新財務諸表の分析
~簿記1級レベルのキャッシュフロー計算書が読める?!~
商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司

職業人講義(公認会計士有資格者) 講師選定中

職業人講義(公認会計士有資格者) 講師選定中

職業人講義(税理士有資格者) 講師選定中

グローバル企業の最新財務諸表から未来を読む① 商学大学院 客員教授 村元 康

グローバル企業の最新財務諸表から未来を読む② 商学大学院 客員教授 村元 康

株式会社電通デジタル寄附講座 実践 顧客基点のデジタルトランスフォーメーション

(株)電通デジタル 寄附講座

専門教育科目 2単位

コーディネータ: 奥村 雅史(商学大学院 教授)

デジタルを基盤とした事業成長支援(概論)
(株)電通デジタル 代表取締役社長執行役員 瀧本 恒

顧客基点のデジタルトランスフォーメーション 超基礎解説
(株)電通デジタル ビジネストラנסフォーメーション部門 部門長 高山 隼佑

UX(ユーザーエクスペリエンス)とUX人材
(株)電通デジタル トランスフォーメーション部門 ディレクター 亀和田 慧太

企業事例(全6回) 講師選定中

デジタルトランスフォーメーション、ビジネストラנסフォーメーションとは何か?
(株)電通デジタル 執行役員 安田 裕美子

顧客体験起点の日本流DX
(株)電通デジタル トランスフォーメーション部門 エグゼクティブディレクター 小浪 宏信

電通デジタルのグローバルでの取組み
(株)電通デジタル グローバルビジネス部門 エグゼクティブディレクター 菊地 克彦

早稲田OB/OGが語るDX領域でのキャリアの創り方/講義総括(挨拶)
(株)電通デジタル OB/OG社員
(株)電通デジタル 執行役員 大村 雄志郎

株式会社日本M&Aセンターホールディングス寄附講座 起業家養成講座 I

(株)日本M&Aセンターホールディングス 寄附講座

専門教育科目 2単位

コーディネータ: 中出 哲(商学大学院 教授)
清水 洋(商学大学院 教授)
村元 康(商学大学院 客員教授)

ガイダンス+学生起業家の紹介
商学大学院 教授 中出 哲
商学大学院 教授 清水 洋
商学大学院 客員教授 村元 康
学生起業家 講師選定中

アイデア発想法 商学大学院 客員教授 村元 康

ビジネスプランの作り方 商学大学院 客員教授 村元 康

イノベーションとアントレプレナーシップ 商学大学院 教授 清水 洋

成功するビジネスの創り方 (株)日本M&Aセンター 代表取締役社長 三宅 卓

起業のもうひとつの選択肢 小規模M&Aの世界
(株)パトンス 代表取締役兼CEO 神瀬 悠一

行政、金融から見た中小企業のM&A
中小企業庁 事業環境部 財務課 課長補佐 田尻 雄裕
(株)日本M&Aセンター 経営企画部 横山 逸郎

個人が中小企業のオーナーになる、サーチファンドという新しい企業のかたち
(株)サーチファンド・ジャパン 代表取締役 伊藤 公健

事業計画の作り方 (株)日本M&Aセンター CA1部 部長/税理士 雙木 達也
(株)日本DX人材センター 代表取締役社長 藤田 舞

M&Aにおける企業評価のいろは
(株)日本M&Aセンター DM部 部長/公認会計士 羽田 寛芳
(株)日本M&Aセンター CA部/公認会計士 佐潟 直弥

ベンチャー経営転ばぬ先の杖 (株)日本M&Aセンター CA部/税理士 高橋 裕幸
(株)日本M&Aセンター 法務部 木本 暁世

起業と経営リスクを知っておこう
(株)日本M&Aセンター 法務部 部長/弁護士 横井 伸

ビジネスプラン発表会(10チーム⇒3チーム) 商学大学院 客員教授 村元 康

ビジネスプラン発表会および表彰式
商学大学院 教授 中出 哲
商学大学院 教授 清水 洋
商学大学院 客員教授 村元 康

未来を創るPRの力

(株)オズマピーアール 提携講座

専門教育科目 2単位	コーディネーター:嶋村和恵(商学大学院 教授)
ガイダンス/パブリック・リレーションズとは何か	商学大学院 教授 嶋村 和恵 <small>(株)オズマピーアールエグゼクティブマネジメントアドバイザー</small> 林 直樹
社会デザイン発想	ピーアールコンピナート(株)PR本部PR2部 部長 杉山 太一
プランニング(論調分析、戦略立案、ターゲット設定、キーメッセージ作成等)	商学大学院 教授 嶋村 和恵 <small>(株)オズマピーアール コーポレートコミュニケーション本部 ブランドデザイン部 エキスパート</small> 浜永 裕也
PRって何だろう? ~同意形成のテクノロジー~	博報堂 執行役員 エグゼクティブクリエイティブディレクター 嶋 浩一郎
PRパーソンの基本のキ「パブリシティ(メディアへの情報提供)」	オズマピーアール リレーションズデザイン本部 副本部長 岩垂 晋
テレビとPRの新時代 伝わらない時代に伝える技術~炎上と共感の境界線~	フジテレビジョン ニュース総局 情報制作センター 局次長職 ぐまし 8プロデューサー 磯島 康郎
デジタルPR	オズマピーアール リレーションズデザイン本部 統合コミュニケーション戦略部 鳥居 保人
企業のサステナビリティ(CSR)について	CSR48 総監督(森永乳業(株)) 太田 康子
企業における広報活動(仮)	講師選定中
組織内との関係性構築	WTW(ウイリス・タワーズワトソン) ディレクター 松尾 梓司
「広報」の言葉	SmileWords スピーチライター/コミュニケーションコンサルタント ひきた よしあき
不祥事対応における広報・法務の協働の重要性	西村あさひ法律事務所 弁護士 鈴木 悠介
ヘルスケアPRの「ミカタ」	オズマピーアール オズマヘルスケア本部 本部長 伴野 麻衣子

ベンチャー企業の成長と証券市場との関わり

(株)東京証券取引所 提携講座

専門教育科目 2単位	コーディネーター:久保 克行(商学大学院 教授) 村元 康(商学大学院 客員教授)
ガイダンス	商学大学院 教授 久保 克行 <small>(株)東京証券取引所 金融リテラシーサポート部 課長</small> 村元 康 <small>(株)東京証券取引所 金融リテラシーサポート部 課長</small> 斎藤 史貴
証券市場の仕組みと機能	(株)東京証券取引所 金融リテラシーサポート部 課長 斎藤 史貴
イノベーション・ベンチャーを知る① 創業社長による新規上場(IPO)とM&Aによる上場廃止	東芝データ(株)取締役COO(元(株)フォトクリエイト 取締役会長)(元(株)CCCフォトライフラボ 代表取締役社長) 白砂 晃
イノベーション・ベンチャーを知る② ベンチャー企業のIPO準備と上場後のコーポレート部門を支える仕事とキャリア(仮)	(株)マネーフォワード グループ執行役員CHO 石原 千亜希
株式の上場制度と最新動向	東京証券取引所 上場部 伊藤 歩
上場審査制度と実務	有限責任あずさ監査法人 公認会計士 阿部 金弥
イノベーション・ベンチャーを知る③ 一般企業から独立・創業し、IPOに至るまでのストーリー	(株)スペースマーケット 代表取締役社長 重松 大輔
上場会社の適格性の維持	日本取引所自主規制法人 上場管理部 講師選定中
イノベーション・ベンチャーを知る④ ベンチャー企業成長のための、起業家と投資家(VC)の成長ストーリー	クリアーション(株) 代表取締役CEO 小川 智也 <small>グロービス・キャピタル・パートナーズ(株) 代表パートナー</small> 今野 稔
最近の金融を取り巻くデジタル化の動き	(株)JPX総研 フロンティア戦略部 講師選定中
イノベーション・ベンチャーを知る⑤ スタートアップを支える仕事とスタートアップのキャリア	フォースタートアップス(株)代表取締役社長 志水 雄一郎 <small>フォースタートアップス(株)取締役 兼 アクセラレーション本部長</small> 清水 和彦
イノベーション・ベンチャーを知る⑥ 社外の目を意識して強い組織をつくる、コーポレートガバナンスのリアル	HENNGE(株) 代表取締役社長兼CTO 小椋 一宏 <small>HENNGE(株) 社外監査役(早川経営法律事務所代表弁護士)</small> 早川 明伸
世界の証券市場	(株)日本取引所グループ グローバル戦略部 講師選定中

ビジネス簿記(会計士養成講座入門)

学校法人 大原学園 提携講座

専門教育科目 2単位	コーディネーター:長谷川 恵一(商学大学院 教授)
ガイダンス、簿記の目的、簿記一巡の手続き、取引	商学大学院 教授 長谷川 恵一 <small>商学大学院 非常勤講師</small> 板垣 淳司
仕訳、勘定記入、試算表、商品売買など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
現金預金、手形、債権債務など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
有形固定資産、税金など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
収益費用、株式会社の資本など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
決算整理①(売上原価、残高試算表、精算表など)	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
決算整理②(減価償却、貸倒れなど)	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
決算整理③(経過勘定項目、現金過不足、法人税など)	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
損益計算書、貸借対照表、主要簿と補助簿、伝票会計など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
棚卸資産・現金預金など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
債権債務・固定資産など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
有価証券など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
株式会社の純資産など	商学大学院 非常勤講師 板垣 淳司
前期試験と解説	商学大学院 教授 長谷川 恵一 <small>商学大学院 非常勤講師</small> 板垣 淳司

ツーリズム産業論

(一社)日本旅行業協会 提携講座

専門教育科目 2単位	コーディネーター:長谷川 恵一(商学大学院 教授)
ガイダンス—ツーリズム産業論概要	商学大学院 教授 長谷川 恵一
観光の現状と観光庁の今後の取組について	国土交通省 観光庁 観光産業課長 庄司 郁
インバウンド6000万人時代における成田国際空港の役割	成田国際空港(株) 執行役員 経営企画部 経営企画部戦略企画室長 片山 敏宏
鉄道と地域と観光	(株)ジェイアール東日本企画 常務取締役CDO(ソーシャルビジネス・地域創生本部長) 高橋 敦司
ホテルビジネスにおける新フェーズの経営戦略	(株)西武・プリンスホテルズワールドワイド 取締役 常務執行役員 赤松 衛一
訪日インバウンドの高付加価値戦略	(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル 代表取締役社長執行役員 石田 恒夫
宇宙ビジネスにおけるツーリズム産業の今とこれから	(株)日本旅行 事業共創推進本部 マネージャー 中島 修
旅行業のグローバル展開	(株)エイチ・アイ・エス 執行役員 波多野 英夫
航空業界の現状・航空ビジネスについて	ANAホールディングス(株) 上席執行役員 グループ経営戦略室長 米谷 宏行
旅行会社の地域創生に果たす役割	東武トップツアーズ(株) 代表取締役社長執行役員 百木田 康二
最前線の社員が語る旅行業の今と未来	(版急交通社、JR東日本びゅうツーリズム&セールス、T-LIFEパートナーズ、クラブツーリズム) <small>(一社)日本旅行業協会 事務局次長</small> 渡辺 正樹
JTBの次世代戦略	(株)JTB 取締役 常務執行役員 経営戦略担当(CSO) 総合企画担当 青海 友
旅行業の未来	(一社)日本旅行業協会 アドバイザー 越智 良典

新時代の保険～新しいリスクと、保険業の挑戦～

あいおいニッセイ同和損害保険(株) 提携講座

専門教育科目 2単位

コーディネータ:李 洪茂(商学大学院 教授)

ナビゲーションの技術と移動の未来

(株)ナビタイムジャパン 代表取締役社長 大西 啓介

災害と避難～認知バイアスの罠

MS&ADインターリスク総研(株) 基礎研究部 上席研究員 新納 康介

保険のゲームチェンジへの取組～Web3、マイクロモビリティなど

あいおいニッセイ同和損害保険(株) 経営企画部 デジタルビジネス開発G長 データソリューション室長 小泉 泰洋

正念場に入った企業危機管理

(株)亀屋 代表取締役社長 危機管理コンサルタント 山崎 正晴

グローバルリスクの管理方法

マッシュローカージャパン(株) 代表取締役社長 村山 知生

巨大リスクを取り扱う世界の再保険

ミュンヘン再保険会社 日本支店 アンダーライティング部 プロパティ特約再保険ヘッド 田村 徹

移動の未来とこれからのキャリア

GO(株) 代表取締役社長 中島 宏

地球温暖化時代の企業の課題と金融・保険の役割

国連環境計画(UNEP) 金融イニシアティブ 特別顧問 末吉 竹二郎

介護を変える最新テクノロジー

(株)日本政策投資銀行 産業調査部 副調査役 植村 佳代

高齢者に優しいまちづくりとテクノロジー

奈良県立医科大学 MBT研究所副所長(研究教授) 梅田 智広

起業とFintech

(株)Finatextホールディングス 代表取締役社長 林 良太

これからの損害保険業界

あいおいニッセイ同和損害保険(株) 代表取締役社長 新納 啓介

財政・金融の今と未来～行政官からのメッセージ～

財務省 関東財務局 協力講座

専門教育科目 2単位

コーディネータ:和田 宗久(商学大学院 教授)

ガイダンス・若手職員(早大OB)による業務紹介・体験談

商学大学院 教授 和田 宗久
東京財務事務所長 木村 隆

利用者目線に立った金融サービスとは～金融の基礎知識と金融行政～

関東財務局総務部長 井上 浩

金融情勢の変化と未来を追う～地域金融機関の役割～

関東財務局理財部金融監督官 萬場 大輔

新時代の金融サービスへの挑戦～FinTechと金融行政～

金融庁総合政策局フィンテック参事官 清水 茂

ディスクロージャー制度と有価証券報告書の読み方

関東財務局理財部次長 中村 誠

企業買収ルールと最近の事例～TOB&5%ルール～

関東財務局総務部長 井上 浩

人生100年時代の資産形成とは～金融商品の知識と投資家保護の取組み～

東京財務事務所次長 長谷部 貴史

①税を学ぶ ②給与と税～所得税のしくみ～

渋谷税務署税務広報広聴官 福永 亮

日本と世界の経済情勢～今を知り、未来を予想する～

財務省大臣官房総合政策課企画室企画第二係長 大澤 銀河

経済調査の手法・分析～経済調査のプロセスを紐解く～

関東財務局総務部経済調査課長 満谷 聡

日本の将来と財政～日本の未来を考えよう～

財務省主計局調査課課長補佐 大本 エリナ

国有財産の有効活用～地域社会に密着した国有財産とは～

関東財務局財務行政調整官 小泉 孝

地方創生の取組み～地域のために我々ができることは～

関東財務局総務部長 井上 浩

● 2024年 秋講座

公益社団法人リース事業協会寄附講座
サステナブルな社会を創るリース

(公社)リース事業協会 寄附講座

(2024年度未定のため、2023年度の内容を掲載しております)

専門教育科目 2単位	コーディネータ:新井 剛(商学大学院 教授)
リース入門①	(公社)リース事業協会 事務局長 加藤 建治
リース入門②	(公社)リース事業協会 事務局長 加藤 建治
リース会社の実務①	三菱HCキャピタル(株) モビリティ事業部長 南部 聡 三井住友ファイナンス&リース(株) 専務執行役員 渡部 信一郎
リース会社の実務②	みずほリース(株) 理事国際業務管理部長 坂本 光浩 オリックス(株) 電力事業部中部チーム 赤瀬 隼人
企業から見たリースの活用例	WOTA(株) 代表取締役CEO 前田 瑠介 (株)リコー ESG戦略部ESGセンター所長 阿部 哲嗣 リコーリース(株) 経営企画部経営管理室長 河下 一平
地方自治体から見たリースの活用例	静岡県教育委員会 教育施設課 課長 山川 和成 静岡県教育委員会 教育施設課 技監 横田 恭子 川口市理財部管財課庁舎車両係長 永友 聡弘 川口市理財部契約課課長補佐兼物品契約係長 佐野 陽也 川口市経済部経営支援課課長補佐兼雇用支援係長 中田 泉
リースと会計・税務・法務	東京センチュリー(株) 取締役常務執行役員 経営企画部門長(兼) 経理部門長 平崎 達也 芙蓉総合リース(株) グループ法務コンプライアンス部長 綾野 理佳
リースと環境	三井住友ファイナンス&リース(株) リソース企画部長 松村 賀央 佐藤法律事務所 弁護士 佐藤 泉
ワークショップ	JA三井リース(株) 総合企画本部経営管理部広報IR室 八織 結衣 NTT・TCリース(株) 営業推進部営業企画部門 井土 菜々子 (株)SBI新生銀行 グループ人事部 齋藤 昌太 東銀リース(株) 人事部部長代理 寺本 哲朗 (公社)リース事業協会 事務局長 加藤 建治 (公社)リース事業協会 企画部課長 廣澤 且巳
産業政策とリース/地球環境問題とリース	経済産業省 消費経済企画室長 松隈 健一 元 環境省地球環境審議官 近藤 智洋
リース産業のサステナビリティ活動(座談会)	JA三井リース(株) 経営管理部長 星野 耕一 東京センチュリー(株) 広報IR部長 河井 謙吾 芙蓉総合リース(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室長 山崎 竜也 みずほリース(株) コーポレートコミュニケーション部長 武 知子 三井住友ファイナンス&リース(株) 広報IR部長 澤口 保津美 (公社)リース事業協会 事務局長 加藤 建治 (公社)リース事業協会 企画部課長 廣澤 且巳
リース産業の将来展望	三井住友ファイナンス&リース(株) 代表取締役社長 橘 正喜
課題レポート総評	商学大学院教授 新井 剛 JA三井リース(株) 経営管理部長 星野 耕一 (公社)リース事業協会 事務局長 加藤 建治

グロービス・キャピタル・パートナーズ寄附講座
起業論(文理融合)

グロービス・キャピタル・パートナーズ(株) 寄附講座

専門教育科目 2単位	コーディネータ:井上 達彦(商学大学院 教授) 村元 康(商学部・環境エネルギー研究科 客員教授)
ガイダンス～講座の活用方法～	商学大学院 教授 井上 達彦 商学部・環境エネルギー研究科 客員教授 村元 康
チーム作り	商学部・環境エネルギー研究科 客員教授 村元 康
事業構築① 事業領域選定(仮)	講師選定中
事業構築② MVPの作り方(仮)	講師選定中
事業構築③ 失敗から学ぶ事業作り(仮)	講師選定中
組織作り① 組織作りの基礎(仮)	講師選定中
ワークショップ① 起業アイデア発表～仲間集め～(仮)	講師選定中
組織作り② 共同創業者の見つけ方、最初の10人のチーム作り(仮)	講師選定中
組織作り③ 失敗から学ぶ組織作り(仮)	講師選定中
資金調達① 資金調達の基礎(仮)	講師選定中
資金調達② 創業初期の資金作り、初めての資金調達(仮)	講師選定中
資金調達③ 失敗から学ぶ資金調達(仮)	講師選定中
ワークショップ発表② 起業アイデア発表～投資家向け～(仮)	講師選定中
振り返り	商学大学院 教授 井上 達彦 商学部・環境エネルギー研究科 客員教授 村元 康

株式会社カインズ寄附講座
デジタル化と企業経営

(株)カインズ 寄附講座

(2024年度未定のため、2023年度の内容を掲載しております)

専門教育科目 2単位	コーディネータ:恩蔵 直人(商学大学院 教授)
カインズの価値創造ストーリー	(株)カインズ 代表取締役会長 土屋 裕雅
商品開発・サービス創造ワークショップ ～カインズ流・商品開発のためのアイデアづくりにチャレンジ!～	(株)カインズ ライフスタイルSBU インテリア・ファニッシング部 部長 大井 龍弥
ニューヨーク起業で求められる仮説検証の能力と忍耐強さ	CURINA CEO 朝谷 実生
チェーンストア産業がもたらす価値	(株)日本リテイリングセンター リサーチディレクター 渥美 六雄
小売業界の現在	(株)ダイヤモンド・リテイルメディア 編集長 千田 直哉
長く支持され、愛されるための「ファンベース」という考え方	(株)ファンベースカンパニー 代表取締役社長/CEO 津田 匡保
YouTuberから社外取締役へ～インフルエンサーの付け方～	(株)ワークマン 社外取締役 濱屋 理沙
「くらしに、ららら。」なマーケティング	(株)カインズ 執行役員 CMO 兼 マーケティング本部長 石橋 雅史
製造業とスポーツ業界におけるイノベーション機会	ゼビオホールディングス(株) 副社長執行役員 近野 泰
これからのチェーンストアビジネス	(株)カインズ 代表取締役会長 土屋 裕雅
サステナビリティを暮らしの“あたりまえ”に～ユニリーバのパーパス経営～	ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング(株) 代表取締役社長 ジョイ・ホー
アダストリアの経営戦略「アパレルカンパニーからグッドコミュニティ共創カンパニーへ」	(株)アダストリア 代表取締役社長 木村 治

特定非営利活動法人 Family Business Network Japan 寄附講座

FBN 寄附講座 ファミリービジネス (Succession・Governance・Management)

特定非営利活動法人 Family Business Network Japan 寄附講座

専門教育科目 2単位

コーディネータ: 梁取 美夫 (商学大学院 教授)

ガイダンス(ファミリービジネスとは?) (仮)	商学大学院 教授 梁取 美夫
ファミリービジネスの社会的使命 (仮)	講師選定中
コーポレートガバナンスとファミリーガバナンス(組織と仕組み) (仮)	講師選定中
ファミリービジネス成功のための処方箋 (仮)	講師選定中
ファミリービジネスとイノベーション (仮)	講師選定中
事業承継①(「家」の存続と「会社」の継承) (仮)	講師選定中
事業承継②(第三者による承継) (仮)	講師選定中
ファミリービジネスのビジョナリー経営 (仮)	講師選定中
ファミリービジネスと地域社会の関わり (仮)	講師選定中
主要産業国におけるファミリービジネスのGDPほか (仮)	講師選定中
ファミリービジネスのベストプラクティス (仮)	講師選定中
ファミリービジネスの資産保全・管理 (仮)	講師選定中
ファミリービジネスのビジネスコンサルティング (仮)	講師選定中
ファミリービジネスの将来 (仮) …(講評)	商学大学院 教授 梁取 美夫

変化に対応する日本企業

(一財)経済広報センター 提携講座

(2024年度未定のため、2023年度の内容を掲載しております)

専門教育科目 2単位

コーディネータ: 久保 克行 (商学大学院 教授)

ガイダンス/日本社会の変化と企業活動の変化 (一財)経済広報センター 常務理事・国内広報部長 佐藤 徹	商学大学院 教授 久保 克行
まちづくりの最近の潮流・変化への対応 ~大手町・丸の内・有楽町地区のまちづくりDXの取組み~ 三菱地所(株) 都市計画企画部長 後藤 泰隆 三菱地所(株) 都市計画企画部 川合 健太	
決済をめぐる経済・社会環境の変化と日本銀行の取り組み 日本銀行 決済機構局FinTechセンター長 別所 昌樹	
ヤマトグループが取り組むサステナブル経営 ヤマト運輸(株) 執行役員 サステナビリティ推進部長 秋山 佳子	
世界の潮流、そして日本企業に必要な「変革」とは何か アクセントチュア(株) Accenture Song 通信メディアハイテク/ 公共サービス・医療健康クライアントグループ 共同日本統括 マネジング・ディレクター 坂本 佳子	
事業を通じて社会的課題の解決を目指すオムロンのサステナビリティ経営 オムロン(株) 執行役員常務 グローバルインベスター& ブランドコミュニケーション本部長 兼 サステナビリティ推進担当 井垣 勉	
宇宙で暮らす時代に建設業が果たす役割~世代交代のための人工重力施設研究~ 鹿島建設(株) イノベーション推進室 担当部長(宇宙) 大野 琢也	
未来をつくる「クラフトビール」と「キリン」 キリンビール(株) 事業創造部 岡本 理沙 キリンホールディングス(株) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 堀 伸彦	
創業150年を迎える企業の姿 古河機械金属(株) 取締役常務執行役員 名塚 龍己	
メルカリの今とこれから (株)メルカリ 執行役員VP of HR 梅澤 亮	
Changing Constantly to Remain Unchanged 変わらないために変り続けてきた会社 (株)資生堂 Executive Officer, Chief Digital Officer Angelica Munson	
環境エネルギー分野に関する経団連の取り組み (一社)日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長 長谷川 雅巳	
クリーンウォーター事業への取り組みと新たな挑戦 ヤマハ発動機(株) 海外市場開拓事業部 企画推進部 クリーンウォーターグループ グループリーダー 金丸 正史	

起業家養成講座 II

早稲田大学校友等起業家有志 提携講座

(2024年度未定のため、2023年度の内容を掲載しております)

専門教育科目 2単位

コーディネータ: 井上 達彦 (商学大学院 教授)
村元 康 (商学大学院 客員教授)

担当教員による講義(全4回) 商学大学院 教授 井上 達彦 商学大学院 客員教授 村元 康	
起業家講演①【キャリア編】起業家養成講座を #活用しろ (株)リブセンス 代表取締役社長/政治経済学部卒 村上 太一 Skyland Ventures パートナー/理工学部卒 木下 慶彦	
起業家講演②【キャリア編】身近な先輩起業家たちのリアルを #深掘りしろ (株)FinT 代表取締役/文化構想学部卒 大槻 祐依 (株)High Link 代表取締役/創造理工学部卒 南木 将宏 インキュベイトファンド(株)ディレクター/文化構想学部卒(モデレーター) 清水 夕稀	
起業家講演③【キャリア編】事業作りを #経験しろ XTech(株)代表取締役 CEO、XTech Ventures代表パートナー、 エキサイトホールディングス(株)代表取締役社長CEO/法学部卒 西條 晋一 レバレッジズ(株)代表取締役/社会科学部卒 岩根 知秀	
起業家講演④【キャリア編】メガベンチャーで #修行しろ (株)CHIGO 代表取締役 CEO/人間科学部卒 近本 あゆみ (株)Natee 代表取締役/国際教養学部卒 小島 領剣	
起業家講演⑤【起業編】学生時代に #起業しろ (株)ユーザーローカル 代表取締役/政治経済学部卒 伊藤 将雄 (株)テグミー 代表取締役/政治経済学部在学中 宮下 大佑 (株)TemRoom 代表取締役/政治経済学部卒 岩本 涼	
起業家講演⑥【起業編】AIで #起業しろ HEROZ(株) 代表取締役/教育学部卒 林 隆弘 (株)クラフター 代表取締役社長/政治経済学部卒 小島 舞子	
起業家講演⑦【特別編】座談会「起業する前に早稲田OBOGに #相談しろ」 コインチェック(株) 共同創業者/大学院物理学専攻修了 大塚 雄介 (株)スタックス 代表取締役/商学部卒 須田 仁之 アル(株) 代表取締役/政治経済学部卒 古川 健介 (株)newn 代表取締役/商学部出身 中川 綾太郎 (株)newn COHINAディレクター/政治経済学部卒 田中 絢子 (株)リバースタジオ 代表取締役、The HEADLINE 編集長/政治学研究科修士課程修了 石田 健 (株)F Ventures パートナー/政治経済学部卒 両角 将太 アニマルズピリッツ(株)ディレクター/理工学部卒 中山 悠里 (株)and 代表取締役/社会科学部卒 平 貴衣 PAPAMO(株) 代表取締役/商学部卒 橋本 咲子	

起業家講演⑧【スケール編】業界変動の波を捉えて #スケールしろ

(株)CARTA HOLDINGS 代表取締役会長/商学部卒 宇佐美 進典
キッズウィークエンド(株) 代表取締役CEO/大学院経営管理研究科 三浦 里江

起業家講演⑨【スケール編】プラットフォームモデルで #スケールしろ

LINEヤフー(株) 上級執行役員エンターテインメントカンパニー CEO/社会科学部出身 舛田 淳
(株)SODA アドバイザー/創造理工学部卒 濱田 航平

起業家講演⑩【スケール編】世界を舞台に #スケールしろ

(株)メルカリ 代表取締役CEO/教育学部卒 山田 進太郎
グロービス・キャピタル・パートナーズ(株)プリンシパル/政治経済学部卒(モデレーター) 磯田 将太

1 成績評価と単位修得状況の見方

成績評価と成績の見方は、以下のとおりです。MyWasedaにログインすると「成績照会画面」で成績を確認できます。

STEP1: 「成績照会・科目登録専用」にログインする

1. MyWasedaのログイン画面左下に表示されている「成績照会・科目登録専用」のボタンをクリックします。
2. Wasedaメールアドレスとパスワードを入力してログインします。
3. 「成績照会・科目登録専用メニュー」が表示されたら、「成績照会」のリンクをクリックします。



STEP2: 伝達事項を確認する

1. 所属学部・研究科事務所からの伝達事項がある場合は、「伝達事項」画面が表示されます。伝達事項には成績発表対象ごとに、成績を確認するうえでの重要なお知らせが含まれている場合があります。「伝達事項」画面が表示されている場合は、必ず先に確認した上で、「成績照会」画面に進んでください。

2. 「成績照会画面へ」ボタンをクリックすると、「成績照会」画面に進みます。

※所属学部・研究科から特別なお知らせ等がない場合は、伝達事項は表示されません。
 ※所属学部・研究科からの伝達事項は「発表開始日時」から一定期間のみ表示されます。



STEP3: 成績照会画面を確認する



科目名	取得年度	学期	単位	成績	GP
○グローバル科目○					
学術的文章の作成 02:【グローバル】	2022	夏	1	A+	4
基礎演習 03	2022	春	2	A	3
【外国語科目】					
General Tutorial English (準上級) α A1 (早稲田):【グローバル】	2022	春	1	A+	4
General Tutorial English (準上級) β A1 (早稲田):【グローバル】	2022	夏	1	A+	4
英語II (Readings in Social Issues) 準上級 11組	2022	春	2	B	2
英語II (Writing: Structure and Style) 準上級 11組	2022	秋	2	A	3
英語III (Global Issues) 上級 01組	2023	春	2	A	3
英語III (News English) 上級 05組	2023	秋	2	B	2
仏語(初級) α 02組	2022	春	2	A	3
仏語(初級) β 02組	2022	秋	2	A	3
仏語(中級) α 02組	2023	春	2	B	2
インテンシブ仏語(初級) α 02組	2022	春	2	A	3
インテンシブ仏語(初級) β 02組	2022	秋	2	A	3
インテンシブ仏語(中級) α 02組	2023	春	2	B	2
【分析方法・数学科目】					
統計学入門 01	2022	春	2	F	0
統計学入門 02	2022	秋	2	A+	4

成績評価について

成績表示	合	否	成績評価の分布基準(目安)	素点及び備考
A+	合格		成績上位者	100~90点
A			「A+」に次ぐ成績上位者	89~80点
B			「A」に次ぐ成績上位者	79~70点
C			「B」に及ばぬが単位修得は可能者	69~60点
F	不合格	不合格		59点以下
*	履修中	履修中の科目		現在未確定

※一部F(合格)/Q(不合格)評価で表示される科目があります。

1. 最初に、成績発表開始日時を確認し、「発表開始日時」時点の学籍状態等を確認します。
2. 「発表開始日時」時点の成績を確認します。

状態	説明
学籍状態	「発表開始日時」時点の学籍状態を表示します。 ※前の学期に休学していた場合は、次の成績発表まで「在学中」と表示されない場合があります。
判定結果	標準修業年限の最終学年となる学生(学部の場合、4年生以上)に対し、「発表開始日時」時点の卒業見込判定・卒業判定の結果が【卒業判定結果】として表示されます。 また、所属学部によっては、教員免許関連科目を履修しており、一定の基準を満たしている学生について、資格取得見込判定・資格取得判定の結果が【資格判定結果】として表示されることがあります。
発表開始日時	「成績照会」画面に表示されている成績を発表した日付と時間を表示します。

STEP4: 単位修得状況/GPAを確認する

1. 「単位習得状況」と「GPA」を確認します。

1A20xxxx 早稲田 太郎さんの単位取得状況です。

科目区分名	所定	取得	算入
政治学利用 (アカデミック+学際領域+ジャーナリズム+専門演習)	4	7	7
グローバル科目	4	7	7
導入科目	4	4	4
導入科目(学術的文章の作成)	1	1	1
導入科目(基礎演習+基礎演習論文)	3	3	3
外国語I(英語)	10	10	10
外国語I(英語I(English Workout))	2	2	2
外国語I(英語II)	4	4	4
外国語I(英語III)	4	4	4
外国語II(仏語必修)	6	6	6
外国語II(仏語必修以外)	6	6	6
分析方法・数学科目	4	6	6
グローバル科目 (グローバルリテラシー+プロフェッショナル+演習)	10	12	12
小計		44	44
政治学科目	6	6	6
入門科目:必修	6	6	6
基礎科目	6	8	8
基礎科目:必修 基礎文献研究(英語)A/B	4	4	4
基礎科目:選択必修 領域別基礎文献研究(英語)	2	2	2
政治学利用(コア+発展+専門演習)	50	45	45
小計	62	59	59
経済学科目	8	8	8
小計	8	8	8
総合計	124	123	123

修得単位について

表示	内容
所定	卒業に必要な単位
取得	これまでに修得したすべての単位 (教職課程科目と自由科目の単位を含む)
算入	既得単位のうち、卒業に必要な単位として扱われる単位 (教職課程科目と自由科目の単位を含まない)

※卒業までの残り単位は「所定」と「算入」の差でご確認ください。

年度	GPA
2020年度	2.59
2021年度	2.56
2022年度	2.18
2023年度	1.67
通算	2.00
2022年度	2.14
2023年度	2.80
通算	2.22

※注意書き

年度	GPA
「履修年度」	「春学期GPA」
	「秋学期GPA」
通算	「通算GPA」

GPAが空白の場合、該当学期に履修した科目がありません。

※「単位修得状況の照会」画面では、「成績照会」画面にて発表済みの成績における集計結果のみ表示しています。

※「単位修得状況の照会」画面では、在学中に成績「発表開始日時」までに履修した科目における単位修得状況を表示します。履修年度ごとの単位修得状況ではありませんのでご注意ください。

不足単位数の確認

卒業要件を満たすには【所定】単位数 ≤ 【算入】単位数となるように単位を修得し、【算入】の総合計が、各学部・研究科で定められた卒業必要単位数以上になるよう修得しなければなりません。

不足単位数の計算方法: 【所定】単位数 - 【算入】単位数 = 現在の不足単位数

2 GPA

科目の成績評価に対してGrade Pointと呼ばれる換算値(A+は4点、Aは3点、Bは2点、Cは1点、不合格は0点)が決まっています。それぞれの「科目の単位数」と「成績評価のGrade Point」の積の総和を「総登録単位数」で割って、スコア化したものがGPA (Grade Point Average) です。

3 Dean's List

商学部では、学業・スポーツ・文化芸術活動等で顕著な成果を残した商学部生を対象に、日々の努力とその成果を表彰し、諸活動に対する更なる意欲向上を目的として、2023年度に「Dean's List」を創設しました。

(1) Dean's List(学業)は、

- ① 学業成績(GPA)に基づき、各学年30名程度を表彰します。
- ② 1~3年生は、単年度ごとの成績(GPA)をもとに、上位3%の学生を選出します。
- ③ 4年生は、入学から卒業までの4年間の通算成績(GPA)をもとに、上位3%の学生を選出します。

(2) Dean's List(スポーツ) / Dean's List(文化)は、

- ① 学部が定める期間(前年2月~当年1月)に、スポーツ活動/文化芸術活動において個人または団体の構成員として残した顕著な成果に基づき表彰します。
- ② 顕著な成果とは、国内では全国レベルで入賞以上、世界レベルでは出場以上を目安とします。

キャリア支援

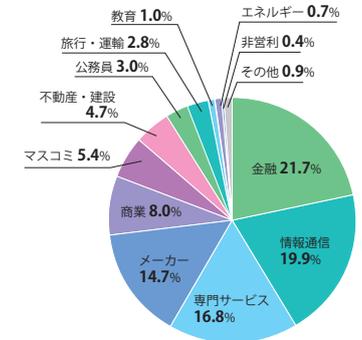
自ら納得できる就職活動ができた人には、就職活動の軸をしっかりと固め、できるだけ多くの社会人に会ったり、数多くの企業を調べ比較検討したりするなど、しっかり行動していたという活動のパターンがあるようです。就職活動は、自分を知ること(自己分析)と相手を知ること(業界・企業・職種研究)から始まります。早稲田大学キャリアセンターが行っている多くの就職活動支援行事や進路相談が、学生のみなさんが行動するきっかけとなっています。

2022年度商学部 進路状況

※卒業生数は、2022年9月、2023年3月卒業者の合計

卒業生数	進路報告者	就職	進学・留学	資格試験受験	その他・進路未定
896	884	773	35	38	38

2022年度商学部 業種別進路状況



2022年度卒業生 主な就職先

※2023年6月1日現在、キャリアセンター調べ

(株)エヌ・ティ・ティ・データ(NTTデータ)	東京海上日動火災保険(株)	(株)NTTドコモ	あいおいニッセイ同和損害保険(株)
EY新日本有限責任監査法人	PwCコンサルティング(同)	(株)博報堂	三菱地所(株)
(株)ペイカレント・コンサルティング	りそなグループ	(株)電通	東日本電信電話(NTT東日本)(株)
(株)三菱UFJ銀行	日本生命保険(相)	パーソルキャリア(株)	(株)電通デジタル
楽天グループ(株)	(株)リクルート	PwCあらた有限責任監査法人	レバレッジズ(株)
ソフトバンク(株)	キリンググループ	有限責任あずさ監査法人	シンプレクス・ホールディングス(株)
(株)キーエンス	日本アイ・ピー・エム(日本IBM)(株)	大日本印刷(株)	伊藤忠テクノソリューションズ(株)
SMBC日興証券(株)	(株)ニトリ	(株)日立製作所	PwC(税)
大和証券(株)	野村證券(株)	日本電気(NEC)(株)	デロイト・トーマツコンサルティング(同)
みずほ証券(株)	明治安田生命保険(相)	日産自動車(株)	(株)日本総合研究所
損害保険ジャパン(株)	特別区(東京23区)職員	住友商事(株)	アクセンチュア(株)
アビームコンサルティング(株)	サントリーホールディングス(株)	ファーストリテイリンググループ	EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)
(株)野村総合研究所	三菱商事(株)	(株)日本政策金融公庫	国家公務員総合職
富士通(株)	丸紅(株)	日本銀行	国家公務員一般職
(株)商工組合中央金庫	(株)みずほフィナンシャルグループ	(株)三井住友銀行	
農林中央金庫	三菱UFJ信託銀行(株)	三井住友ファイナンス&リース(株)	
三井住友信託銀行(株)	日本航空(株)	住友生命保険(相)	

「大学院進学という選択肢」

商学学術院では、研究型の大学院(商学研究科)、MBAを主体とする専門職大学院(会計研究科、経営管理研究科)を擁し、いずれも学部での学びをさ

らに深く、高度な専門性と学際性を備えた教育を展開しています。さらに、国内外の大学や各研究機関とも交流を深めながら、高度な研究に取り組み、その成果を社会へと広く還元する活動も積極的に行っています。卒業後の進路として検討する際は、

各研究科にお気軽にお問い合わせください。

商学学術院ウェブサイト

<https://www.waseda.jp/fcom/>

Q、キャリアセンターって 誰が利用できるの？

早大生なら誰でも利用できます！

- 新入生
- 低学年
- 就活生
- 修士学生
- 博士学生
- 外国人留学生
- 障がいのある学生

Q、キャリアセンターって どこにあるの？

キャリアセンター	C Space	オンライン
戸山キャンパス 学生会館3階 ◆事務所窓口【月～金】10:00～16:00 ◆電話対応【月～金】9:00～17:00	早稲田キャンパス 6号館1階 ◆開館時間【月～金】13:30～17:00 ※開館日・時間に変更がある場合は、キャリアセンターWebサイトよりお知らせします。	◆Webサイト ◆My Waseda ◆各種プラットフォーム (Waseda Moodle, LINEオープンチャット, Zoom, キャリアコンパス)

Q、キャリアセンターって 何してるの？

Design your future	キャリア・就活個別相談
Webページ「Design your future」では、大学が提供する公式の課外活動プログラム・学生スタッフの取組みを紹介しています。	キャリア・就活に関する相談であれば何でもどうぞ。 <相談例> 就職活動のしかた / 自己分析 / 業界・企業研究 / インターンシップ / 留学と就職 / 公務員 / キャリアビジョン(将来)など ●40分/回(対面またはオンライン) ●キャリアコンパスから、要事前予約

講座・イベント	イベントアーカイブ・資料
就職活動やキャリアに関する講座やイベントの実施。イベントページより、スケジュールをご確認いただけます。 <イベント例> ●低学年・全学年向け 課題発見力向上講座/デザイン思考法に関するセミナー 卒業生から学ぶ/国際機関で働く ●就職活動 就活準備講座/就活力向上講座 合同企業説明会/インターンシップフェア 外資系企業キャリアフェア/留学と就活 企業と就活生のマッチング会/公務員 など	Waseda Moodle「キャリアセンター提供コンテンツ」にて、過去に開催した講座やイベントの動画・資料をご覧いただけます。

就業体験(インターンシップなど)	図書の閲覧・貸し出し
様々な就業体験プログラムを提供しています。高い就業成果の期待できるプログラムや大学を過ぎないと応募できない行政機関での就業体験プログラムなどがあります。	キャリア形成や就職支援に関する図書・資料をセンター内に設置し、閲覧・貸し出しをしています。 ・自己分析・自己啓発本 ・新聞・ビジネス誌 ・就職活動に関する書籍(業界地図・四季報・テスト対策本等...) (情報会社等からの提供資料) など

LINE 公式LINEオープンチャット	キャリアコンパス
早大生限定、キャリア・就活に関する情報交換の場です。イベント案内、個別相談当日予約の「空き状況」等、キャリアセンターからのお知らせもいたします。	早大生だけが利用できる就活支援システムです。 ・企業の就業体験、求人情報 ・個別相談予約 ・イベント予約

キャリアセンターホームページ	Web面接用ブース
	就職活動本選考やインターン選考のためのWeb面接用にテレキューブを設置しています。 キャリアセンター:3台 西早稲田キャンパス(61号館1階):2台 所沢キャンパス(100号館4階):1台

【お問い合わせ】
 TEL : 03-3203-4332 (月～金 9:00～17:00)
 E-Mail : career@list.waseda.jp

大学院商学研究科への 進学について



■ 商学研究科長
奥村 雅史

国際的に活躍できる真の「研究者」と「高度専門職業人」を育てること。研究大学院である商学研究科は、創設以来約70年にわたって、この2つの目標を掲げ、学術分野と実業界で国内外において活躍する幾多の有能な人材を輩出してきました。

商学研究科には、修士課程と博士後期課程が置かれ、商学全般の教育・研究を行っています。修士課程は、ビジネスに関連した諸領域における高度な知識と分析スキルを与え、研究実践を通じて、広い視野と高度な研究能力、ならびにグローバルな視点を備えた人材を養成することを主な目的としています。博士後期課程では、国際的に研究成果を発信できる大学教員などの研究者を養成することを目的としており、明確な博士学位申請論文の提出ルールのもと、研究指導体制を強化し、博士学位取得の促進を図っています。

商学研究科では、後述の奨学金の提供や学部・修士5年一貫修了制度の設置などにより、本学商学部生の当研究科への進学を積極的に後押ししています。

商学研究科では、通常より短期間で修了できる制度や奨学金制度などを設け、本学商学部生が直接商学研究科への進学を目指すことを積極的に後押ししています。

授業・カリキュラム

商学研究科のカリキュラムでは、「経営」「マーケティング・国際ビジネス」「金融・保険」「会計」「理論・計量」「公共政策・経済史」の6つ

の専修に区分し、約60の研究指導を設け、各分野に関する集中的で高度な教育研究の機会を提供しています。一般の講義科目もほとんどが少数規模クラスで、教員と学生の距離が近い教育・指導を行っています。また、多くの学生が量的・質的分析のツールを修得できるように、カリキュラムの充実を図っています。研究指導で特定のテーマを徹底的に掘り下げると同時に商学の知識を幅広く吸収する、つまり「総合性」と「専門性」を同時に身につけることができます。

入学試験

入試には「一般入試」と「推薦入試」、「特別推薦入試」があります。

一般入試は、出身大学に関係なく、学部卒業に相当する学歴がある人を対象としています。一方、推薦入試は、早稲田大学在学中の学生(商学部生:GPA値2.50以上、他学部生:GPA値2.70以上)を対象としています。

一般入試では、語学能力試験スコア(TOEFL、TOEIC、IELTS)の提出と専門科目試験・口述試験が行われます。筆記試験については出題範囲が指定されています。

推薦入試は、書類選考・口述試験により選考します。商学研究科への進学を検討している場合は、是非学部での勉学に励んでください。

特別推薦入試は2018年度Ⅲ期より新たに始まりました。本入試は、本学商学部にて2010年度以降に入学し、出願時点で卒業後5年以内かつ卒業時点のGPA値が2.50以上の人を対象としており、専門科目試験が免除されます。社会に出てから学び直したい、専門性を高めたい、と考える方には最適の入試です。

各入学試験の詳細については、必ず「入学試験要項」で確認してください。

推薦入試出願サポート

推薦入試には推薦書の提出が必要ですが、ゼミに所属していない、研究指導の教員を変更したいといった理由で自身で推薦書の手配が難しい場合は、事務局がサポートします。出願前にご相談ください。

先取り履修制度

4年生以上の商学部生は、商学研究科修士課程の設置科目を履修することができます。

卒業後に進学する場合は、これらの修得単位を商学研究科の修了要件単位としての算入が申請可能です。

学部・修士5年一貫修了制度

商学部在学中に修士課程の早期修了制度適用資格要件を満たし、かつ推薦入学試験に合格した学生は、「先取り履修制度」を活用して、学部4年・修士1年の通算5年で修士学位取得を目指します。留学した場合、渡航時期によっては就職活動期間と重複して延長生になってしまうことを懸念すること多いかと思えます。「5年一貫修了制度」では、延長生としてではなく大学院生としてより商学分野の専門性を深く学び、留学経験をさらに活かした上で就職活動に臨むことができます。開始してから10年目ですが、既に63名以上の商学部生は本制度を利用しており、修了後は様々な分野で活躍しています。学部4年生と修士課程1年生の期間を利用して修士学位に相当する専門性を獲得できる魅力的な制度です。

奨学金

推薦入試によって商学部から進学する学生を対象とした「寺尾巖奨学金(30万円)」、「商学部寄附講座大学院進学奨学金(20万円)」など、多数の奨学金が用意されています。

進路

修士課程修了者の約10%は博士後期課程や海外の大学院へ進学しますが、大半の人は高度専門職業人として社会に出て活躍しています。主な就職先としては、学術研究、専門技術サービス業(シンクタンク、コンサルティング、監査法人など)、金融業(銀行、保険など)、情報通信サービス業、放送業、広告業、メーカーなどが挙げられます。

説明会

商学研究科では、年に数回のペースで、学部からの進学に関する説明会を実施しています。商学研究科のホームページや11号館3階の掲示などで確認してください。また、商学研究科事務局でも随時相談に応じていますので、進学を考えている商学部生は漠然とした問い合わせでも構いませんので、是非相談してください。

大学院会計研究科への進学について



■ 会計研究科長
清水 孝

大学院会計研究科とは

早稲田大学 大学院会計研究科は、会計や保険数理に関連するプロフェッショナルを養成する専門職大学院です。伝統的な修士課程とは異なり、**理論と実務を融合した多角的なプログラム**の下、修得した単位を積み上げて修了することになります。

この会計研究科には、より高いレベルのキャリアを目指す人々が集まり、一流の研究者教員と経験豊富な実務家教員と一緒に切磋琢磨しています。

プロフェッショナルになろう

プロフェッショナルとは、何でしょうか。それは、新しい事例や複雑な問題に直面したときに、専門的な能力を活かし、適切な判断力をもって問題解決できる人であり、そうなるためには、公認会計士やアクチュアリー資格取得はもとより、専門的な知識やスキル、考え方を身に付けることが必要です。

会計研究科では、資格試験科目に対応した教育に加え、少人数でディスカッションを中心としたワークショップ科目や、監査法人および税理士法人、コンサルティング・ファームなどによる提携講座をはじめとした実務的な講義・演習も数多く提供しています。

会計+1(プラスワン)

会計研究科では、自らの強みを拓げるために「**会計+1**」により、会計に加え、ICT・コンサルティング、税務、professional communication、アクチュアリー、データサイエンスなどの科目を充実させています。

- ✓ ICT・コンサルティング
- ✓ Professional communication
- ✓ アクチュアリー
- ✓ データサイエンス
- ✓ 税務



これは、あくまでもコンセプトであり、何かを選択しなければならないというものではありません。会計の分野を突き詰めてもよいですし、+2や+3として、より視野を広げることを考えてもよいでしょう。プロフェッショナルとして活躍するために、会計研究科のカリキュラムを活用してください。

アクチュアリー+1(プラスワン)

さらに、会計研究科では、2019年度から「**アクチュアリー専門コース**」を設けています。ビジネスの世界では、保険会社のみならず、どの業界にも関係する退職給付などを通じ、会計の分野とアクチュアリーの分野は隣接しています。「**会計+1**」のコンセプトの下、会計に加え、アクチュアリーに関する科目を充実させてきた会計研究科では、異なる入試形態により、理数系の方が入学しやすくなるとともに、アクチュアリー関連科目を増設し、保険数理に強いMBAの育成に力をいれています。

アクチュアリー試験は、1次試験5科目(数学、生保数理、損保数理、年金数理、会計・経済・投資理論)の合格後、実務に関連した2次試験(生保コース、損保コース、年金コースから1つ選択)から構成されます。会計研究科では、

このうち1次試験5科目を在学中に合格することを目標に、日本アクチュアリー会等と提携した教育体制を確立しています。

このような大学院は、わが国で唯一であり、また、「**アクチュアリー+1**」のコンセプトの下、アクチュアリーとして必要な領域のみならず、関連する会計分野(公認会計士とアクチュアリーの両方の資格を目指す等)、ICT・コンサルティングやprofessional communication、データサイエンスなどのカリキュラムを活用することにより、自身の強みを拓けてください。

商学部生へ

会計研究科では、同じ商学学術院にある商学部生が、会計研究科に進学することを大いに歓迎しています。商学部生には、在学中に会計研究科設置科目のいくつかを履修することができる「**先取り履修制度**」(学部では自由科目扱いですが、会計研究科に進学した場合、修了要件単位に算入することができるもの)を利用することができます。

また、商学部生をはじめとした早稲田大学の各学部卒業予定者には、「**会計専門コース**」「**アクチュアリー専門コース**」ともに、**学内推薦入試**が設けられています。

加えて、**学内AO入試**を設け、早稲田大学の学部生であれば、口述試験による別枠の入試を行っています。さらに、1年間で修了できる「**学内5年一貫修了制度入試**」も設けています。

会計研究科では、プロフェッショナルとなり、その集団の中でも抜きでる力を持つことを志す様々な人々が、入学・修了時期や所属を超えて形成されている素晴らしいコミュニティへ加わることもできます。人生100年時代と言われる中で、2年間にわたる会計研究科での学修を通じ、是非、あなた自身の価値(バリュー)を高めてください。

(会計研究科の詳細については、HPをご覧ください [早稲田 会計](#) [検索](#))。

公認会計士講座(日商簿記検定1級～3級講座)紹介

公認会計士とは

皆さんは公認会計士という資格をご存知ですか。公認会計士は国家資格であり、会計のスペシャリストとして会計監査等を行います。ちなみに、会計監査とは一般投資家を保護するために、上場企業の決算書が正しく作成されたかどうかを第三者としてチェックする業務です。会計と言われてもピンとこないかもしれませんが、会計は企業の根幹をなしており、業種を問わず、すべての企業において必須とされる要素なのです。

そのため、公認会計士になるためには非常に難関な試験にパスしなければなりません。公認会計士試験の大きな特徴の一つとして、受験科目の多さが挙げられます。公認会計士試験は財務会計論(簿記・財務諸表論)、管理会計論(原価計算・管理会計)、監査論、企業法、租税法の必須科目と、経営学・経済学・民法・統計学のうち1科目の選択科目からなり、この中で特にウェイトが高いのが財務会計論(特に簿記)と管理会計論(特に原価計算)の計算科目です。この2科目の習得には時間がかかり、数学とは異なる独特な計算科目であるため、受験生でも苦手意識を持つ人が多いのが現状です。このことから、このような計算科目を得意科目にすることが早めにできれば、公認会計士試験合格に大きく近づくことができます。

公認会計士法の改正により、2006年度から新試験制度が導入され、公認会計士

試験は短答式試験(択一式試験)および論文式試験に集約されました(これまでは3次5段階選抜方式)。また、短答式試験合格者に対する向こう2年間の短答式試験免除および論文式試験の向こう2年間の科目合格制の導入等、受験生にとっては合格しやすい環境へと変わりました。

2022年度最終合格率は7.7%(合格者1,456人)となっています。合格者のほとんどが監査法人へ就職されており、監査法人での採用状況は例年通り良好です。

日商簿記検定講座内容

早稲田大学公認会計士講座では、皆さんの公認会計士試験合格のお手伝いとして、公認会計士試験に合格した公認会計士および試験合格者を講師に招いて、日商簿記検定1級・2級・3級の受験指導を行っています。公認会計士試験に直接対応した指導を行っているわけではありませんが、これらの日商簿記検定の勉強を通して、簿記の初歩から公認会計士試験の必須科目である計算科目に至るまで、暗記に頼らず、「なぜこうなるのか」という考え方を重視した指導を行います。これは公認会計士試験の本格的な受験に備える意味で、重要であると考えています。

また、公認会計士を目指す方だけではなく、その他の資格や職業を目指す方であっても簿記検定を持っていることで、大きなアピールポイントにもなり、また大学の講義でも役立ちます。

2024年度案内

詳細は3月下旬頃にご自宅にお届けする当講座の広告「一生モノの簿記を早稲田で学ぼう」をご確認ください。また、4月上旬にもガイダンスを実施する予定であり、その際、講座日程表や申込書等の配付を行います。後日、Webでもガイダンスをリリースしますので、ガイダンスに参加できない方は11号館810教室の公認会計士講座事務所にて講座日程表や申込書等を受け取り、Webにてガイダンスをご視聴ください。

ご不明な点は、当講座X(旧Twitter)アカウント(@WucpaOfficial)、ホームページ(<https://wcpa-course.com/>)でご確認いただくか、あるいは、wucpa.office@gmail.comまでメールにてお問い合わせください。

- Mail wucpa.office@gmail.com
- X (旧 Twitter)
- 早稲田大学公認会計士講座 (@ WucpaOfficial)
- ホームページ (WUCPA)
- <http://wcpa-course.com/>

講座の例(2024年度の予定)

	開講時期	対象者	講座概要
3・2級講座	4月～11月	簿記未経験者、商学部「基礎会計学」の履修予定者など	ライブ講義とweb講義(自由選択)での実施を予定しています。4月から6月まで日商簿記3級の範囲を習得します。6月の検定試験終了後、2級講座がスタートし、8月頃までに商業簿記の範囲を、夏休み明けから工業簿記の範囲を学び、11月の日商簿記2級の合格を目指します。



■商学部4年 山内ゼミ
渡部 慎太郎

私は大学二年の5月に短答式試験に合格し、大学三年の8月に令和4年論文式試験に総合合格しました。

まず、私が公認会計士試験の勉強を始めたのは、「将来への不安」によるものでした。大学入学した当初、私はコロナウイルス等による不安定な社会情勢を見て、将来への大きな不安を抱いていました。更に就活が長期化、難関化している現状を鑑みて、何か一つ強い武器を身に付ける必要があると考えました。そのような状況下の私に最も適合していたのが、公認会計士という資格でした。この資格の特徴として私が最も魅力的であると考えた点が、「就活が圧倒的に売り手市場であること」、「将来的に金銭的基盤が保障されること」、

「転職市場価値の高さゆえに、好きな職で生きていけること」の三点です。先輩が就活に苦しんでいる様子を間近で見てきた私は、上述の魅力に突き動かされ、大学一年の秋に資格の勉強を始めました。

それ以来、5月の短答式試験当日を迎えるまで、私は毎日基本的に8時間以上勉強しました。当時一番辛かったのは、共に入学した同期が華々しい大学生活を送っている中で、自分は自習室やカフェに籠って勉強しているというギャップでした。当時は、自宅で食べるご飯が1日の大きな楽しみになる程に平坦な受験生活を送っていました。しかし、その努力は実を結び、短期間で一次試験を突破することができ、二次試験の勉強へと前向きな気持ちで駒を進めました。二次試験の勉強は、勉強時間を掛けても成績が思うように上がらない時期に悩むこともありましたが、その分自習室に来ている誰よりも多く勉強するしかないと割り切って、苦しみながらもひたすらに自習を重ねまし

た。その結果、無事大学三年の8月に総合合格を果たしました。

私は、努力は裏切らない、という言葉が必ずしも正しいとは考えていません。努力もそのやり方や方針によっては、成長に一切繋がらないと考えています。その点を前提とした上で、「量より質、それを超える量」という考え方を常に念頭に置くべきと私は考えています。受験勉強の過程で、友人が大学生活を楽しんでいる姿を見て妬ましく感じたり、周囲の否定的な声のため、自分のしていることが本当に正しいのか疑って、辛くなるのが必ずあると思います。しかし、今苦しみながら勉強している時間は、周りが将来する苦勞を先に済ませていることに他なりません。数年後に華々しく輝かしい生活を送っているのは、今苦勞して努力している自分達であることに違いはないのです。これまで努力してきた自分と、今の自分を信じて、これからも公認会計士試験の受験勉強を頑張ってください。

公認会計士試験合格体験記



■商学部3年 長谷川ゼミ
中山 陽介

私はこの度、2023年度公認会計士試験に合格しました。この合格体験記が皆さんの進路選択の一助になれば幸いです。

私が公認会計士を目指そうと考えるようになったきっかけは、高校生の時に図書館で偶然、公認会計士という職業を紹介している本を見つけたことです。この本を読んで公認会計士という職業を知り、その専門性の高さや活躍の幅の広さに惹かれました。とても難易度が高い試験に合格する必要があることも同時に知りましたが、挑戦してみる価値は大いにあると考えました。そこで、大学に入学したら公認会計士を目指すことに決めました。

大学に入学後、資格予備校に入って公

認会計士試験に向けた勉強を始めました。1年次は比較的時間に余裕があり、サークル・バイトを続けることができました。しかし、2年生になってからは1次試験である短答式試験が近付いてきたこともあり、より勉強に集中したいと考えました。そこで、サークルは辞めて、バイトも時間がある時に不定期で勤務できるものに変えました。周りの友人はサークルなどに専念していて、とても羨ましく感じた時もありました。思うように成績が伸びず、苦しんだ時期もありました。もし試験に合格できなかった時のことを考えてしまい、公認会計士を目指すことに決めた自分の選択が本当に正しかったのか不安になったこともありましたが、同じ志を持つ仲間と励まし合い、切磋琢磨することで少しずつ前進を続けることができました。結果として、当初の目標通り2022年12月の短答式試験、そして2023年8月の論文式試験に合格することができました。

公認会計士試験はとても長丁場の試験

です。試験会場にたどり着く前に、多くの受験生は脱落していきます。合格までの道のりはとても長く険しいものです。ですが、公認会計士を目指す過程で身につけることのできる知識や経験は、会計系の職業に就くかどうかに限らず、すべての人にとって有意義なものになると感じます。私は大学生活の半分以上を公認会計士試験の勉強に費やしましたが、この期間はとても充実したものであったと感じています。

公認会計士を目指すという選択は、非常に勇気が必要な選択だと思います。たくさんのお金や時間がかかりますし、受験期間は多くの我慢を強いられることになるからです。ですが先にも述べた通り、公認会計士を目指す過程で得られるものは生涯の財産になると思います。もし少しでも公認会計士を目指すことに興味を持っていただけたのであれば、ぜひ公認会計士試験について調べてみてください。皆さんが充実した学生生活を送れますよう祈念しております。

※学年は執筆時点の学年です

留学プログラム

早稲田大学の派遣留学プログラム

(1) ダブルディグリープログラム(DD)

海外の名門校に留学し、所定の要件を満たした場合、本学を卒業する際に本学の学位と派遣先大学所定の学位を両方取得できるプログラムです。

DD課程修了には高度な語学力が求められるため、参加希望者の語学力について特に厳格な審査を行います。

留学期間は約1年半です。本学学費等に加え、登録料15万円の支払いが必要です。

(2) 大学間・交換留学プログラム(EX)

派遣先大学の現地学生と共に通常科目を履修するプログラムです。留学出発時から比較的高い語学力が求められます。

留学期間は原則として1年間ですが、半期での留学が可能なプログラムもあります。

プログラム費用は原則発生せず、在学時と同様の学費等を本学に支払います。

(3) 箇所間・交換留学プログラム(EX)

商学部では、ヨーロッパ、北米、アジアの各地域におけるビ

ジネス系学部と箇所間協定を締結しています。(p.45参照)

大学間同様、派遣先大学の現地学生と共に通常科目を履修するため、留学出発時から比較的高い語学力を求められます。留学期間は半期もしくは1年間です。

プログラム費用は原則発生せず、在学時と同様の学費等を本学に支払います。

(4) CS (Customized Study) プログラム

語学力向上を主目的とした、原則1年間のプログラムです。半期で留学が可能なプログラムもあります。

通常科目も履修可能なプログラム(CS-R)と、所定の語学学習を中心としたカリキュラムを履修するプログラム(CS-L)があります。CS-Lについては出願時の語学力はほとんど問われません。

本学への授業料は原則として免除となりますが、留学先の学校へ1年間で約200～400万円程度のプログラム費用等を支払います。

※(1)～(4)すべてのプログラムについて、派遣先大学で修得した単位は商学部の卒業単位への単位認定対象となります。

但し、特に(4)については、語学科目への単位認定が主となります。

商学部 留学データ

★プログラム別人数

プログラム名称	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大学間	32	4	11	16	16
箇所間	39	6	6	35	25
ダブルディグリー	1	1	2	0	1
CS-R	3	0	0	0	1
CS-L	29	1	6	10	24
私費	0	0	1	0	0
合計	104	12	26	61	67

※各プログラムの詳細については、留学センター発行の「STUDY ABROAD留学の手引き」を参照ください。
※2020年度・2021年度・2022年度の数値には、オンライン留学生の人数が含まれます。

2023年度データ

★国・地域別人数

国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数
アメリカ	22	フィンランド	3	スペイン	1
カナダ	7	ニュージーランド	3	オランダ	1
フランス	7	イギリス	2	エストニア	1
ドイツ	6	スウェーデン	2		
イタリア	4	アイルランド	2		
中国	4	オーストリア	2		

箇所間協定～商学部生のための交換留学プログラム～

箇所間協定プログラムは、世界各地のビジネスに特化した学部で半期または1年間学ぶ事ができる商学部生のための交換留学プログラムです。

留学先で専門的な科目を履修することで、語学のみならず、商学部の専門科目へ単位を算入することも可能です。

語学留学だけでは物足りない、英語でビジネスを学びたい、そんな学生にオススメのプログラムです。

◆特徴

- ・商学部生のみ応募可能
- ・出発の約半年前出願(大学間協定は出発の約1年前出願)
- ・どの地域に留学しても英語でビジネスを学ぶことができる

国・地域	協定校(2024年2月時点)
韓国	College of Business and Economics, Dankook University ^{※1}
	Korea University Business School
	School of Business, Yonsei University
台湾	College of Management, National Taiwan University ^{※2}
	College of Commerce, National Chengchi University ^{※3}
中国	Guanghua School of Management, Peking University
	School of Management, Zhejiang University
	University of International Business and Economics
香港	School of Management, the Hong Kong University of Science and Technology
イギリス	University of Exeter
	BAYES Business School City, University of London
イタリア	Bocconi University
オーストリア	Vienna University of Economics and Business
スペイン	School of Economics and Business Administration, University of Navarra
	ESADE Business School, Ramon Llull University
ドイツ	Frankfurt School of Finance and Management
	Faculty of Economics and Business Administration, Goethe-Universität Frankfurt am Main
	Business School, University of Mannheim
	WHU- Otto Beisheim School of Management

国・地域	協定校(2024年2月時点)
フランス	EDC Paris Business School
	ESSEC Business School
	Toulouse Business School
	University Paul Sabatier - Toulouse III
	EDHEC Business School
NEOMA Business School	
ベルギー	Faculty of Economics and Business, Katholieke Universiteit Leuven
フィンランド	Hanken School of Economics
ロシア	Lomonosov Moscow State University Business School
アメリカ	Darla Moore School of Business, University of South Carolina
	Davis College of Business, Jacksonville University
	College of Business, University of Texas at San Antonio
カナダ	Rotman Commerce, University of Toronto
	Sauder School of Business, University of British Columbia
	Peter B. Gustavson School of Business, University of Victoria
	Asper School of Business, University of Manitoba

※1 Dankook Universityは、夏季短期語学留学プログラムも提供しています(下記参照)。詳細は商学部HPをご確認ください。
 ※2 National Taiwan Universityは、ダブルディグリープログラムの協定校です。
 ※3 National Chengchi Universityは、箇所間留学およびダブルディグリーより選択が可能です。

韓国・檀国大学校 商経学部 短期語学留学プログラム

8月上旬から約3週間、朝鮮語の授業を履修するプログラムです。午後には任意参加の文化活動体験が用意されており、興味を持ったプログラムに参加することができます。箇所間協定に基づくプログラムのため、学費免除、さらに宿舍費用も免除されます。



留学は特別じゃない

私は4年生の秋学期に商学部簡所間留学プログラムにてEDHEC Business Schoolに留学しました。1年を通して暖かく日差しの降り注ぐ、南仏の地中海沿いニースにて半年間を過ごしました。

留学理由は2つあります。①包括的な英語能力の向上と②実体験に基づく海外知見の獲得です。①に関しては、就職を控えるなかで会話中心に英語能力を鍛え、将来グローバルに活躍出来るようになりたいからです。②に関しては、海外滞在経験が無かったので実際に外国の人々と密接に交流し、国外から日本を再評価してみたいからです。

結果的に2つとも十分に達成することが出来ました。前提として全授業英語で行われ、ビジネススクールなので実学的な内容が主でした。商学部での知識や経験を活かせるものの、インプットとアウトプット共に全て英語で行うのは大変でした。授業の多くは教授・生徒が双方向に話し合いディス

カッションする形式で、私は4クラスのグループワークとプレゼンテーションを並行して行いました。期末試験はケーススタディが主で、知識と経験を総動員して乗り切りました。日常生活でも英語を話すことが必須であり、この環境の中で自ずと英語能力(特に会話能力)は向上しました。ちなみにフランス語の授業も開講されていました。

一方、楽しい出来事も数多くありました。学内でのワールドフェアでは日本代表として日本の魅力をアピールし、同級生たちから好評を得て表彰もされました。また日常的にご飯を食べ飲みに行き密にコミュニケーションする中で、各国の留学生と現地の学生の双方と仲良くなれたことは貴重な経験でした。休日にヨーロッパ各地を旅行した際には、各国の人々と交流し異文化を直に体感することが出来ました。また、これらの経験から海外の良さだけでなく日本の良さに気づくことも多く、改めて自国をプラス



■ 商学部 4年
中塚 理央

に評価するきっかけとなりました。

個人的に留学して良かったことの一つは「留学しなかったことを後悔せずに済む」ことです。当初は海外滞在経験が無く不安でしたが、やらない後悔よりやる後悔だと奮起し参加しました。留学を経験できたことで海外交流の心理的ハードルが劇的に下がりました。振り返ってみれば意外と余裕をもって乗り越えられたと、成長を実感することが出来ました。

日本と海外では文化や価値観に異なる点が存在しますが、留学を通して結局みな同じ人間だと感じました。そして今では留学も一般的な学生生活の延長線上であり、海外交流は当たり前だと考えています。

だからこそ、留学は特別じゃない。けれど貴重で意義のある大切な経験です。

皆さんもぜひ留学に挑戦してください。応援しています！

視野を広げた1年間

私は3年生の秋学期から1年間、商学部簡所間留学プログラムを利用してオーストリアのウィーン経済大学に留学しました。留学先に志望した一番の理由は、馴染みのないヨーロッパで新たな経験をし、学生としてだけでなく人として成長したいと思ったからです。ウィーン経済大学は世界各国からの留学生を受け入れており、様々な価値観に触れることができるとともに、ビジネスに関する専門的な授業が豊富にあるので、目標に最適な環境でした。

ウィーンへの留学は、目標通り学業面で新たな視点を得られただけでなく、ほかの活動においても様々な体験から新たな価値観や文化を学び、視野を広げ、人として成長できたと感じています。

大学では、インタビューやフィールドワークなど日本ではあまりみられない実践的な授業を中心に履修しました。実際にホテルのオーナーにインタビューをして経営方針や

マーケティング方法などを聞きました。それを元に今後の活動を提言するプレゼンテーションを行い、ホテルのオーナーからフィードバックを頂くという貴重な経験をしました。授業ではアジア人が自分1人ということも少なくなく、ディスカッションの際にはアジアは他国からどう見られているか、経済活動に関する価値観や文化の違いなど、活発に議論したことが印象に残っています。また他国の学生と直接意見交換できたことは、留学ならではの経験だったと思います。これらの経験を通して、同じ大学生でも母国の経済状況や宗教・文化によって物事の見方が多様であること、そしてそれらを尊重したうえでアイデアを膨らませる面白さと大切さを実感しました。

オーストリアは中欧に位置しているため周辺国に行きやすく、休日は友達とヨーロッパの国々を沢山旅行しました。ヨーロッパには日本と違う所が山ほどありますが、バ



■ 商学部 3年
長谷川 彩佳

ルカン半島など馴染みのない土地への旅行では特に多くの発見があり、それぞれの国の良さを再認識しました。年齢やバックグラウンドが異なる他国の学生との旅行では新たな考え方や文化に触れることができ、多くの学びがありました。また留学生にはギャップイヤーや休学を利用したことのある人も多く、将来の夢の規模や方向性も様々でした。このような学生と交流できたことは、将来のプランを見つめ直すきっかけにもなりました。

留学では想像していた以上の貴重な出会いやここには書ききれないほどの経験がありました。入学当初は留学に対してあまり意欲的ではありませんでしたが、今では留学して本当に良かったと思っています。

もし少しでも迷っているならば、話を聞いてみるなど小さくてもいいので留学への一歩を踏み出すことをおすすめします。



■ 今号の表紙「11号館501 天野為之記念教室」

商学部がある11号館は1938年に商学部出身者の寄附によって建設されました。それから71年後の2009年に建て替えが行われ現在の11号館が竣工しました。

表紙の写真は早稲田大学の創成期にささえた天野為之先生の業績をたたえた501天野為之記念教室。かつての講堂を喚起させる木を多用したデザインで、11号館の中でも最も大規模な教室です。

商学部報 No.183

2024年4月1日発行

※本誌記事を無断で転載等する事を禁じます。

■発行責任者：横山 将義

■発行・編集：早稲田大学商学部 東京都新宿区西早稲田1-6-1

<https://www.waseda.jp/fcom/soc/>

■デザイン・印刷：(株)エムディーエス 東京都中央区日本橋箱崎町27-9 2階